

百七十三	三上參次	百七十四	男爵 若槻禮次郎
百七十五	松井茂	百七十六	鈴木喜三郎
百七十七	水野鍊太郎	百七十八	犬塚勝太郎
百七十九	男爵 松井慶四郎	百八十	織田萬
百八十一	宇佐美勝夫	百八十二	小山松吉
百八十三	男爵 鍋島直明	百八十四	男爵 紀俊秀
百八十五	小野塚喜平次	百八十六	男爵 千田嘉平
百八十七	小幡西吉	百八十八	有吉忠一
百八十九	芳澤謙吉	百九十	中川健藏
百九十一	男爵 千秋季隆	百九十二	小原直
百九十三	二上兵治	百九十四	男爵 東久世秀雄
百九十五	出淵勝次	百九十六	林頼三郎
百九十七	馬場鏌一	百九十八	松村真一郎
百九十九	潮惠之輔	二百	後藤文夫

二百一	武富時敏	二百二	和田彦次郎
二百三	男爵 郷誠之助	二百四	若林寶藏
二百五	平生釵三郎	二百六	佐藤鐵太郎
二百七	三井清一郎	二百八	内田重成
二百九	岡喜七郎	二百十	仁井田益太郎
二百十一	男爵 金子有道	二百十二	勝田主計
二百十三	伊澤多喜男	二百十四	男爵 赤松範一
二百十五	男爵 今枝直規	二百十六	坂西利八郎
二百十七	川村竹治	二百十八	太田政弘
二百十九	塚本清治	二百二十	男爵 小畑大太郎
二百二十一	男爵 中島久萬吉	二百二十二	山川端夫
二百二十三	下村宏	二百二十四	男爵 菊池武夫
二百二十五	永田秀次郎	二百二十六	男爵 福原俊丸
二百二十七	結城豊太郎	二百二十八	伍堂卓雄

二百二十九	松本 丞治	二百三十	柴田善三郎
二百三十一	男爵 有地藤三郎	二百三十二	男爵 淺田良逸
二百三十三	男爵 黒田長和	二百三十四	男爵 井田磐楠
二百三十五	男爵 岩倉道俱	二百三十六	男爵 今園國貞
二百三十七	白根 竹介	二百三十八	男爵 渡邊 汀
二百三十九	今井田清徳	二百四十	堀切善次郎
二百四十一	男爵 飯田精太郎	二百四十二	黒崎定三
二百四十三	大橋 八郎	二百四十四	大谷 尊由
二百四十五	男爵 辻 太郎	二百四十六	男爵 高木喜寛
二百四十七	男爵 松尾義夫	二百四十八	男爵 松岡均平
二百四十九	男爵 前田 勇	二百五十	男爵 井上清純
二百五十一	男爵 高崎弓彦	二百五十二	男爵 伊江朝助
二百五十三	男爵 中村謙一	二百五十四	男爵 周布兼道
二百五十五	男爵 大藏公望	二百五十六	男爵 東郷 安

二百五十七	男爵 近藤滋彌	二百五十八	男爵 矢吹省三
二百五十九	男爵 大森佳一	二百六十	男爵 北島貴孝
二百六十一	男爵 本多政樹	二百六十二	男爵 伊藤文吉
二百六十三	男爵 原田熊雄	二百六十四	男爵 沖 貞男
二百六十五	男爵 伊藤一郎	二百六十六	男爵 足立 豊
二百六十七	男爵 奥田剛郎	二百六十八	男爵 關 義壽
二百六十九	男爵 三須精一	二百七十	男爵 長 基連
二百七十一	男爵 松平外與麿	二百七十二	男爵 稻田昌植
二百七十三	男爵 松田正之	二百七十四	男爵 佐藤達次郎
二百七十五	男爵 園田武彦	二百七十六	男爵 橋元正輝
二百七十七	男爵 安場保健	二百七十八	男爵 渡邊修二
二百七十九	男爵 杉溪由言	二百八十	男爵 肝付兼英
二百八十一	男爵 加藤成之	二百八十二	男爵 岩村一木
二百八十三	男爵 山根健男	二百八十四	男爵 徳川喜翰

二百八十五	男爵 深尾隆太郎	二百八十六	三宅秀
二百八十七	中村純九郎	二百八十八	福永吉之助
二百八十九	高田早苗	二百九十	橋本圭三郎
二百九十一	竹越與三郎	二百九十二	倉知鐵吉
二百九十三	市來乙彦	二百九十四	坂野鉄次郎
二百九十五	小野寺長治郎	二百九十六	山岡萬之助
二百九十七	三浦新七	二百九十八	宮田光雄
二百九十九	黒田英雄	三百	河田烈
三百一	遠藤柳作	三百二	室田義文
三百三	川上親晴	三百四	安立綱之
三百五	中川小十郎	三百六	菅原通敬
三百七	田所美治	三百八	有賀光豊
三百九	岡田文次	三百十	青木周三
三百十一	西野元	三百十二	赤池濃

三百十三	八田嘉明	三百十四	藤沼庄平
三百十五	次田大三郎	三百十六	松村義一
三百十七	丸山鶴吉	三百十八	長岡隆一郎
三百十九	大塚惟精	三百二十	吉田茂
三百二十一	松本學	三百二十二	加藤政之助
三百二十三	徳富猪一郎	三百二十四	小久保喜七
三百二十五	古島一雄	三百二十六	樺山資英
三百二十七	土方久徴	三百二十八	若尾璋八
三百二十九	小坂順造	三百三十	大橋新太郎
三百三十一	藤山雷太	三百三十二	堀啓次郎
三百三十三	深井英五	三百三十四	田澤義鋪
三百三十五	澁澤金藏	三百三十六	内藤久寛
三百三十七	菊池恭三	三百三十八	今井五介
三百三十九	稻畑勝太郎	三百四十	各務鎌吉

三百四十一	瀧川儀作	三百四十二	中村圓一郎
三百四十三	森平兵衛	三百四十四	板谷宮吉
三百四十五	石川三郎	三百四十六	小倉正恒
三百四十七	松本眞平	三百四十八	光永星郎
三百四十九	門野幾之進	三百五十	林平四郎
三百五十一	根津嘉一郎	三百五十二	下出民義
三百五十三	白勢春三	三百五十四	上郎清助
三百五十五	江口定條	三百五十六	金杉英五郎
三百五十七	西本健次郎	三百五十八	名取忠愛
三百五十九	幸顯榮	三百六十	久保市三郎
三百六十一	高鳥順作	三百六十二	橋本辰二郎
三百六十三	武井覺太郎	三百六十四	上松泰造
三百六十五	磯村豊太郎	三百六十六	三橋彌
三百六十七	金子元三郎	三百六十八	山隈康

三百六十九	藤原銀次郎	三百七十	野村茂久馬
三百七十一	久恒貞雄	三百七十二	久米田新太郎
三百七十三	油井德藏	三百七十四	仲田傳之助
三百七十五	吉田羊治郎	三百七十六	宇野勇作
三百七十七	細田安兵衛	三百七十八	鶴澤總明
三百七十九	鈴木幸作	三百八十	平尾喜三郎
三百八十一	長野忠次	三百八十二	松本勝太郎
三百八十三	濱口儀兵衛	三百八十四	佐々木八十八
三百八十五	岩田宙造	三百八十六	田中徳兵衛
三百八十七	辻兵吉	三百八十八	三木與吉郎
三百八十九	小林嘉平治	三百九十	大澤徳太郎
三百九十一	山田仙之助	三百九十二	山本米三
三百九十三	野村徳七	三百九十四	平沼亮三
三百九十五	金成通	三百九十六	風間八左衛門

三百九十七	絲原武太郎	三百九十八	青木才次郎
三百九十九	水野甚次郎	四百	小野耕一
四百一	大藪守治	四百二	米原章三
四百三	金岡又左衛門	四百四	大和田健三郎
四百五	岩崎清行	四百六	山上岩二
四百七	出光佐三	四百八	松岡潤吉
四百九	大西虎之介	四百十	氏家清吉
四百十一	瀨川彌右衛門	四百十二	上野喜左衛門

○第二節 全院委員長

昭和十二年九月四日議院法第二十一條第一項及貴族院規則第二十一條ニ依リ
全院委員長ノ選舉ヲ行ヒシニ其ノ結果左ノ如シ

二百四十票	公爵 德川 圀順
一票	公爵 島津 忠重
一票	侯爵 細川 護立

乃チ最多數ヲ以テ公爵德川圀順當選セリ

○第三節 國務大臣及政府委員

本會期ニ於ケル國務大臣及政府委員左ノ如シ

○國務大臣

內閣總理大臣	公爵 近衛 文麿
外務大臣	廣田 弘毅
內務大臣	馬場 鑓一
海軍大臣	米內 光政
司法大臣	鹽野 季彥
陸軍大臣	杉 山 元
逓信大臣	永井 柳太郎
文部大臣	安井 英二
大藏大臣	賀屋 興宣
農林大臣	伯爵 有馬 頼寧

○政府委員

第七十二回帝國議會政府委員

商工大臣	吉野信次
鐵道大臣	中島知久平
拓務大臣	大谷尊由
內閣書記官長	風見章
法制局長官	瀧正雄
法制局參事官	樋貝詮三
同	森山銳一
企畫應調查官	中村敬之進
資源局長官	松井春生
對滿事務局事務官	竹內德治
情報委員會事務官	橫溝光暉
關東局事務官	大塚喜一

第七十二回帝國議會外務省所管事務政府委員

第七十二回帝國議會內務省所管事務政府委員

外務政務次官	松本忠雄
外務參與官	船田中
外務省東亞局長	石射猪太郎
外務省通商局長	松嶋鹿夫
外務書記官	土田豐
內務政務次官	勝田永吉
內務參與官	木村正義
內務省地方局長	坂千秋
內務省警保局長	安倍源基
內務書記官	熊谷憲一
社會局長官	大村清一
社會局部長	山崎巖

第七十二回帝國議會大藏省所管事務政府委員

大藏政務次官	太田正孝
大藏參與官	中村三之丞
大藏省主計局長	谷口恒二
大藏省主稅局長	大矢半次郎
大藏省理財局長	關原忠三
大藏省銀行局長	入間野武雄
大藏省爲替局長	上山英三
大藏書記官	山田鐵之助
同	氏家武
預金部資金局長	廣瀬豐作
陸軍政務次官	加藤久米四郎
陸軍參與官	比佐昌平

第七十二回帝國議會陸軍省所管事務政府委員

陸軍中將	後宮淳
陸軍主計少將	石川半三郎
陸軍主計大佐	栗橋保正

第七十二回帝國議會海軍省所管事務政府委員

海軍政務次官	一宮房治郎
海軍參與官	岸田正記
海軍主計中將	村上春一
海軍中將	豐田副武
海軍主計大佐	山本丑之助

第七十二回帝國議會司法省所管事務政府委員

司法政務次官	久山知之
司法參與官	藤田若水
司法省民事局長	大森洪太
司法省刑事局長	松阪廣政

第七十二回帝國議會文部省所管事務政府委員

司法書記官	齋藤直一
文部政務次官	內ヶ崎作三郎
文部參與官	池崎忠孝
文部省專門學務局長	男爵 山川建
文部省普通學務局長	藤野 惠
文部省社會教育局長	田中重之
文部書記官	橋本政實
農林政務次官	高橋守平
農林參與官	助川啓四郎
農林省農務局長	小濱八彌
農林省米穀局長	荷見 安
農林書記官	周東英雄

第七十二回帝國議會農林省所管事務政府委員

第七十二回帝國議會商工省所管事務政府委員

馬政局長官	村山龍太郎
商工政務次官	木暮武太夫
商工參與官	佐藤謙之輔
商工省工務局長	小島新一
商工省統制局長	黑田鴻五
商工書記官	波江野 繁
貿易局長官	寺尾 進
遞信政務次官	田島勝太郎
遞信參與官	犬養 健
遞信省管船局長	小野 猛
遞信省經理局長	手島 榮

第七十二回帝國議會遞信省所管事務政府委員

第七十二回帝國議會鐵道省所管事務政府委員

第七十二回帝國議會拓務省所管事務政府委員

鐵道政務次官	田尻生五
鐵道參與官	金井正夫
鐵道省經理局長	池井啓次
拓務政務次官	八角三郎
拓務參與官	伊禮肇
拓務省殖產局長	植場鐵三
拓務書記官	副島勝
朝鮮總督府財務局長	林繁藏
臺灣總督府財務局長	嶺田丘造

○第四章 諸表

左ニ議案件數表、議案表、議事日表、自第一回議會開會日時比較表、自第一回議會議案件數、議事件數、開會日數及時數一覽表、委員會表、常任委員會表、請願書一覽表、請願書關係地方別表、請願書紹介議員別表、自第一回議會請願受領件數比較表、自第一回議會至第七十二回議會

二回議員出席比例一覽表、自第一回議會至第七十二回議會傍聽人員表、自第一回議會至第七十二回議會印刷物比較表ヲ掲ケテ各其ノ概要ヲ知ルノ便ニ供ス

議案件數表

種	目	政府提出					件	數	可	決
		動	豫		法					
			算		律					
			案		案					
議員提出	議案	追加案	臨時軍事費案	衆議院ヨリ送附	本院へ提出					
合計	一五	一	二	一	九	二				
	一五	一	二	一	九	二				

第七十二回 諸表(議案件數表)

附 錄

請	願	四	委員ノ審査未了ノモノ	四

議 案 表

議	案	表
---	---	---

○議案表目次

○政府提出法律案

一軍需工業動員法ノ適用ニ關スル法律案	五九八
一臨時馬ノ移動制限ニ關スル法律案	六〇〇
一米穀ノ應急措置ニ關スル法律案	六〇二
一臨時肥料配給統制法案	六〇四
一輸出入品等ニ關スル臨時措置ニ關スル法律案	六〇六
一臨時船舶管理法案	六〇八
一支那事變ニ關スル臨時軍事費支辨ノ爲公債發行ニ關スル法律案	六一〇
一臨時軍事費特別會計法案	六一二

一支那事變ノ爲從軍シタル軍人及軍屬ニ對スル租稅ノ減免徵收
猶豫等ニ關スル法律案

六一四

一臨時資金調整法案

六一六

一外國爲替管理法中改正法律案

六一八

○豫算案

一昭和十二年度歳入歳出總豫算追加案第一號(外務、内務、大藏、司法、文部、農林、商工、逓信各省管所)

六二〇

一昭和十二年度各特別會計歳入歳出豫算追加案特第一號(大藏、陸軍、海軍、文部、拓務各省所管)

六二二

一臨時軍事費豫算案

六二四

○動議

一陸海軍將兵ニ對スル感謝決議案

六二六

案律法出提府政

議案題目	會	委員	出席
軍需工業動員法ノ適用ニ關スル法律案	(本會議) 昭和十二年九月五日 第一讀會 同日 第二讀會 同日 第三讀會	昭和十二年九月五日 選定(議長指名) 特別委員 長 侯爵西郷 從德 委員 伯爵堀田 正恒 副委員 子爵西尾 忠方 大島 健一 男爵有地藤三郎 男爵近藤 滋彌 若尾 璋八 金岡又左衛門 氏家 清吉 連繫事件トシテ本案外一件ヲ同一ノ特別委員ニ付託ス	國務大臣 出 席 政府委員 (本會議) 昭和十二年九月五日 內閣總長 近衛 文麿 理大臣 公府近衛 文麿 海軍大臣 米内 光政 陸軍大臣 杉山 元 政府委員 資源局長 松井 春生 陸軍政務 加藤久米四郎 陸軍參與 比佐 昌平 陸軍中將 後宮 淳 少將 石川半三郎 陸軍主計 栗橋 保正 大佐 一宮房治郎 海軍政務 岸田 正記 海軍參與 岸田 正記 海軍中將 村上 春一 中將 村田 正記 海軍主計 豐田 副武 海軍中將 山本丑之助 大佐
議院議案 復往院議案	昭和三十二年九月十日 法律第八十八號	昭和三十二年九月六日 可決	昭和三十二年九月六日 可決

第七十二回 諸表(議案表)

五九八

考	備
	昭和十二年九月四日本案ヲ配付ス 同日議事日程第二號ヲ以テ第一讀會ヲ五日ト定メ同日程ヲ配付シ官報ニ報告ス 同日委員長副委員長ヲ互選ス 同日委員長ヨリ可決報告書ヲ提出ス 同日右報告書ヲ配付ス 同日議事日程ヲ變更シテ第一讀會ノ續、第二、第三讀會ヲ加フ
	同日 六日 陸軍大臣 杉山 元 政府委員 資源局長 松井 春生 海軍政務 一宮房治郎 次官 岸田 正記 海軍參與 岸田 正記

第七十二回 諸表(議案表)

五九九

案律法出提府政

議案題目	會	委員	出席
臨時馬ノ移動制限 ニ關スル法律案	昭和十二年九月五日 (本會議) 第一讀會 同日 第二讀會 同日 第三讀會	昭和十二年九月五日 連繫事件トシテ軍 需工業動員法ノ適 用ニ關スル法律案 ト同一ノ特別委員 ニ付託ス	國務大臣 出 席 (本會議) 昭和十二年九月五日 陸軍大臣 杉山 元 農林 伯爵有馬 賴寧 政府委員
提出	昭和十二年九月四日 政府提出	陸軍政務 加藤久米四郎 陸軍參與 比佐 昌平 陸軍中將 後宮 淳 少將 石川半三郎 陸軍主計 栗橋 保正 大佐 高橋 守平 農林政務 村上龍太郎 馬政局長 村上龍太郎	
決議	昭和十二年九月六日 可決		
上奏			
公布	昭和十二年九月十日 法律第八十九號		
衆議院議案			
復往院議案			

第七十二回 諸表(議案表)

六〇〇

考	備
	昭和十二年九月四日本案ヲ配付ス 同日議事日程第二號ヲ以テ第一讀會ヲ五日ト定メ同日程ヲ 配付シ官報ニ報告ス 同日右報告書ヲ配付ス 同日議事日程第三號ヲ以テ第一讀會ノ續ヲ六日ト定メ同日 程ヲ配付シ官報ニ報告ス 同日右報告書ヲ配付ス 同日議事日程ヲ變更シテ第一、第三讀會ヲ加フ
	馬政局長 村上龍太郎

第七十二回 諸表(議案表)

六〇一

案律法出提府政

議案題目	會	議	委員	出席
米穀ノ應急措置ニ 關スル法律案	昭十二年九月七日 (本會議) 第一讀會	昭十二年九月八日 第一讀會	昭十二年九月七日 選定(議長指名) 特別委員 委員 侯爵徳川 義親 侯爵久我 通顯 伯爵黒木 三次 伯爵片桐 貞央 子爵米津 政賢 子爵織田 信恒 副委員長 松村眞一郎 內田 重成 柴田善三郎 男爵三須 精一 男爵橋元 正輝 男爵岩村 一木 有賀 光豊 松本 眞平 小林嘉平治	昭十二年九月七日 農林 伯爵有馬 頼寧 大臣 伯府有馬 頼寧 政府委員 農林省農 務局長 小濱 八彌 農林省米 穀局長 荷見 安 同 八日 出席國務大臣政府委員 前會ニ同シ
提出	昭十二年九月四日 政府提出(衆議院)	昭十二年九月八日 會 議		
決議	昭十二年九月八日 可 決	昭十二年九月八日 會 議		
上奏	昭十二年九月八日 裁可ヲ奏請ス			
公布	昭十二年九月十日 法律第九十號			
衆議院議復	昭十二年九月七日衆議院ヨリ可決ノ旨ヲ記シテ政府提出案ヲ送付セラル 同八日本案可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知ス			

第七十二回 諸表(議案表)

六〇二

考	備
	昭十二年九月七日日本案ヲ配付ス(原案ハ參考ノ爲九月四日豫メ之ヲ配付セリ) 同日議事日程ヲ變更シテ第一讀會ヲ加フ 同日特別委員ノ數ヲ十五名ト爲スコトヲ議決ス 同日委員長副委員長ヲ互選ス 同日委員長ヨリ可決報告書ヲ提出ス 同日右報告書ヲ配付ス 同日議事日程第五號ヲ以テ第一讀會ノ續ヲ即日ト定メ同日程ヲ配付シ官報ニ報告ス 同日議事日程ヲ變更シテ第二、第三讀會ヲ加フ
	連繫事件トシテ本案外一件ヲ同一ノ特別委員ニ付託ス

第七十二回 諸表(議案表)

六〇三

案律法出提府政

議案題目	會議	委員	出席
臨時肥料配給統制法案	(本會議) 昭和十二年九月七日 第一讀會 同日 八日 第二讀會 同日 日 第三讀會	昭和十二年九月七日 連繫事件トシテ米穀應急措置ニ關スル法律案ト同一ノ特別委員ニ付託ス	(本會議) 昭和十二年九月七日 農林大臣 伯爵有馬 賴寧 農林省 小濱 八彌 農林省 荷見 安 農林省 波江野 繁 農林省 寺尾 進 農林省 小島 新一 農林省 高橋 守平 農林省 小濱 八彌 農林省 荷見 安 農林省 波江野 繁 農林省 寺尾 進 農林省 小島 新一
提出	昭和十二年九月四日 政府提出(案二)		
決議	昭和十二年九月八日 可決		
上奏	昭和十二年九月八日 裁可ヲ奏請ス		
公布	昭和十二年九月十日 法律第九十一號		
衆議院議復	昭和十二年九月七日衆議院ヨリ可決ノ旨ヲ記シテ政府提出案ヲ送付セラル 同日日本案可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知ス		

第七十二回 諸表(議案表)

六〇四

備考	備
	昭和十二年九月七日日本案ヲ配付ス(原案ハ參考ノ爲九月四日豫メ之ヲ配付セリ) 同日議事日程ヲ變更シテ第一讀會ヲ加フ 同日委員長ヨリ可決報告書ヲ提出ス 同日右報告書ヲ配付ス 同日議事日程第五號ヲ以テ第一讀會ノ續ヲ即日ト定メ同日程ヲ配付シ官報ニ報告ス 同日議事日程ヲ變更シテ第二、第三讀會ヲ加フ
	商工省統制局長 黑田 鴻五 商工書記 波江野 繁 貿易局長 寺尾 進

第七十二回 諸表(議案表)

六〇五

案律法出提府政

議案題目	會	議	委員	出席
輸出入品等ニ關スル臨時措置ニ關スル法律案	昭十二年九月七日 (本會議)	第一讀會 八月八日 第二讀會 同日 第三讀會 同日	昭十二年九月七日 選定(議長指名) 特別委員 公爵岩倉 具榮 侯爵四條 隆愛 伯爵樺山 愛輔 子爵曾我 祐邦 子爵岡部 長景 子爵松平 康春 出淵 勝次 今井田清徳 副委員長 男爵東郷 安 男爵伊藤 一郎 男爵安場 保健 橋本圭三郎 小坂 順造 稻畑勝太郎 小倉 正恒	昭十二年九月七日 (本會議) 昭十二年九月八日 商務大臣 吉野 信次 商工大臣 黑田 鴻五 政府委員 制局長 黑田 鴻五 商工書記 波江野 繁 官 波江野 繁 貿易局長 寺尾 進 官 寺尾 進 同日 出席國務大臣前會ニ同シ 政府委員 商工省工務局長 小島 新一 商工省統制局長 黑田 鴻五 商工書記 波江野 繁 貿易局長 寺尾 進 官 寺尾 進
衆議院復往	昭十二年九月八日 可決	昭十二年九月八日 裁可ヲ奏請ス	昭十二年九月十日 法律第九十二號	昭十二年九月七日 衆議院ヨリ可決ノ旨ヲ記シテ政府提出案ヲ送付セラル 同八日本案可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知ス

第七十二回 諸表(議案表)

六〇六

考 備

昭十二年九月七日日本案ヲ配付ス(原案ハ參考ノ爲九月四日同日議事日程ヲ變更シテ第一讀會ヲ加フ)	同日特別委員ノ數ヲ十八名ト爲スコトヲ議決ス	同日委員長副委員長ヲ互選ス	同日右報告書ヲ配付ス	同日議事日程第五號ヲ以テ第一讀會ノ續ヲ即日ト定メ同日程ヲ配付シ官報ニ報告ス	同日議事日程ヲ變更シテ第二、第三讀會ヲ加フ
下出 民義	大澤徳太郎	金成 通			

第七十二回 諸表(議案表)

六〇七

案律法出提府政

議案題目	會	議	委員	出席
臨時船舶管理法案	昭和十二年九月七日 (本會議)	第一讀會 同日 第二讀會 同日 第三讀會	昭和三十二年九月七日 選定(議長指名) 特別委員 侯爵佐竹 義春 侯爵小村 捷治 長委員 伯爵溝口 直亮 子爵大久保 立 子爵秋元 春朝 子爵井上 勝純 男爵東久世秀雄 下村 宏 男爵井上 清純 副委員長 男爵深尾隆太郎 坂野鉄次郎 堀 啓次郎 各務 鎌吉 橋本辰二郎 岩田 宙造	昭和三十二年九月七日 (本會議) 國務大臣 永井柳太郎 遞信大臣 田島勝太郎 遞信政務 政府委員 犬養 健 遞信參與 小野 猛 遞信省管 船局長 同 八日 出席國務大臣政府委員 ハ前會ニ同シ
提出	昭和十二年九月四日 政府提出(院議)			
決議	昭和十二年九月八日 可決			
奏上	昭和十二年九月八日 裁可ヲ奏請ス			
公布	昭和十二年九月十日 法律第九十三號			
衆議院議案	昭和十二年九月七日衆議院ヨリ可決ノ旨ヲ記シテ政府提出案ヲ送付セラル			
復往院議案	同八日本案可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知ス			

第七十二回 諸表(議案表)

備考	備
	昭和三十二年九月七日日本案ヲ配付ス(原案ハ參考ノ爲九月四日) 同日議事日程ヲ變更シテ第一讀會ヲ加フ 同日特別委員ノ數ヲ十八名ト爲スコトヲ議決ス 同日委員長副委員長ヲ互選ス 同日委員長ヨリ可決報告書ヲ提出ス 同日右報告書ヲ配付ス 同日議事日程第五號ヲ以テ第一讀會ノ續ヲ即日ト定メ同日程ヲ配付シ官報ニ報告ス 同日議事日程ヲ變更シテ第二、第三讀會ヲ加フ
	出光 佐三 松岡 潤吉 大西虎之介

第七十二回 諸表(議案表)

案律法出提府政

議案題目	會	議	委員	出席
支那事變ニ關スル臨時軍事費支辨ノ爲公債發行ニ關スル法律案	昭和十二年九月七日 (本會議) 第一讀會	同 八日 第二讀會	昭十二年九月七日 選定議長指名) 特別委員 公爵島津 忠重 公爵山縣 有道 侯爵池田 宣政 伯爵兒玉 秀雄 委員 伯爵前田 利定	昭十二年九月七日 大藏大臣 賀屋 興宣 政府委員 次官 太田 正孝 大藏參與 中村三之丞 官 谷口 恒二 大藏省主 大矢半次郎 計局長 關原 忠三 大藏省主 入間野武雄 稅局長 山田鐵之助 大藏省理 財局長 氏家 武 大藏省銀 行局長 廣瀬 豊作 大藏書記 同 廣瀬 豊作 同 廣瀬 豊作
議決 昭和十二年九月八日 裁可ヲ奏請ス	同 九日 會 議	同 八日 會 議	男爵赤松 範一 川村 竹治 男爵松岡 均平 男爵矢吹 省三 男爵本多 政樹 男爵山根 健男	同 八日 出席國務大臣政府委員前會ニ同シ
公布 昭和十二年九月十日 法律第八十四號				
衆議院復往				

第七十二回 諸表(議案表)

六一〇

備考	備
	昭和十二年九月七日日本案ヲ配付ス(原案ハ参考ノ爲九月四日) 同日議事日程ヲ變更シテ第一讀會ヲ加フ 同日特別委員ノ數ヲ二十五名ト爲スコトヲ議決ス 同日委員長副委員長ヲ互選ス 同日右報告書ヲ配付ス 同日右報告書ヲ提出ス 同日議事日程ヲ變更シテ第一讀會ノ續、第二、第三讀會ヲ加フ
	副委員長 市長 市來 乙彦 菅原 通敬 次田大三郎 土方 久徵 深井 英五 中村圓一郎 森 平兵衛 久恒 貞雄 野村 徳七 絲原武太郎 連繫事件トシテ本案外四件ヲ同一ノ特別委員ニ付託ス

第七十二回 諸表(議案表)

六一一

案律法出提府政

議案題目	會	議	委員	出席
臨時軍事費特別會計法案	(本會議) 昭和十二年九月七日 第一讀會	同日 第二讀會	昭和三十二年九月七日 連繫事件トシテ支那事變ニ關スル臨時軍事費支辨ノ爲公債發行ニ關スル法律案外三件ト同一ノ特別委員ニ付託ス	(本會議) 出席國務大臣政府委員ハ支那事變ニ關スル臨時軍事費支辨ノ爲公債發行ニ關スル法律案ノ部ニ同シ
提出 昭和十二年九月四日 政府提出(衆議院ニ)	同日 第三讀會	支那事變ニ關スル臨時軍事費支辨ノ爲公債發行ニ關スル法律案ノ部ニ同シ		
議決 昭和十二年九月八日 可決				
奏上 昭和十二年九月八日 裁可ヲ奏請ス				
公布 昭和十二年九月十日 法律第八十五號				
衆議院議復 昭和十二年九月七日衆議院ヨリ可決ノ旨ヲ記シテ政府提出案ヲ送付セラル 同日日本案可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知ス				

第七十二回 諸表(議案表)

六一二

備考	備
	昭和十二年九月七日日本案ヲ配付ス(原案ハ參考ノ爲九月四日同日議事日程ヲ變更シテ第一讀會ヲ加フ) 同日委員長ヨリ可決報告書ヲ提出ス 同日右報告書ヲ配付ス 同日議事日程ヲ變更シテ第一讀會ノ續、第二、第三讀會ヲ加フ

第七十二回 諸表(議案表)

六一三

案律法出提府政

第七十二回 諸表(議案表)

議案題目	會議	委員	出席
支那事變ノ爲從軍シタル軍人及軍屬ニ對スル租稅ノ減免、徵收猶豫等ニ關スル法律案	(本會議) 昭和十二年九月七日 第一讀會 同日 八日 第一讀會 同日 日 第二讀會 同日 日 第三讀會	昭和十二年九月七日 連繫事件トシテ支那事變ニ關スル臨時軍事費支辨ノ爲公債發行ニ關スル法律案外三件ト同一ノ特別委員ニ付託ス	(本會議) 出席國務大臣 政府委員 ハ支那事變ニ關スル臨時軍事費支辨ノ爲公債發行ニ關スル法律案ノ部ニ同シ
提出 昭和十二年九月四日 政府提出(案議院ニ)			
決議 昭和十二年九月八日 可決			
上奏 昭和十二年九月八日 裁可ヲ奏請ス			
公布 昭和十二年九月十三日 法律第九十四號			
衆議院議院復往			

六一四

考 備

昭和十二年九月七日日本案ヲ配付ス(原案ハ參考ノ爲九月四日豫メ之ヲ配付セリ) 同日議事日程ヲ變更シテ第一讀會ヲ加フ 同日委員長ヨリ可決報告書ヲ提出ス 同日右報告書ヲ配付ス 同日議事日程ヲ變更シテ第一讀會ノ續、第二、第三讀會ヲ加フ

第七十二回 諸表(議案表)

六一五

案律法出提府政

第七十二回 諸表(議案表)

議案題目	會議	委員	出席
臨時資金調整法案 昭和十二年九月四日 政府提出(衆議院)	(本會議) 昭和十二年九月七日 第一讀會 同日 八日 第二讀會 同日 第三讀會	昭和十二年九月七日 連繫事件トシテ支那事變ニ關スル臨時軍事費支辨ノ爲公債發行ニ關スル法律案外三件ト同一ノ特別委員ニ付託ス	國務大臣 政府委員 出席 (本會議) 出席國務大臣 政府委員ハ支那事變ニ關スル臨時軍事費支辨ノ爲公債發行ニ關スル法律案ノ部ニ同シ
議決 昭和十二年九月八日 可決	(委員會) 支那事變ニ關スル臨時軍事費支辨ノ爲公債發行ニ關スル法律案ノ部ニ同シ		
上奏 昭和十二年九月八日 裁可ヲ奏請ス			
公布 昭和十二年九月十日 法律第八十六號			
衆議院議案 昭和十二年九月七日衆議院ヨリ可決ノ旨ヲ記シテ政府提出案ヲ送付セラル 同日日本案可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知ス			

考 備

昭和十二年九月七日日本案ヲ配付ス(原案ハ參考ノ爲九月四日豫メ之ヲ配付セリ) 同日議事日程ヲ變更シテ第一讀會ヲ加フ 同日委員長ヨリ可決報告書ヲ提出ス 同日右報告書ヲ配付ス 同日議事日程ヲ變更シテ第一讀會ノ續、第二、第三讀會ヲ加フ

第七十二回 諸表(議案表)

案律法出提府政

議案題目	會議	委員	出席
外國爲替管理法中 改正法律案	(本會議) 昭和十二年九月七日 第一讀會 同日 第二讀會 同日 第三讀會	昭和十二年九月七日 連繫事件トシテ支 那事變ニ關スル臨 時軍事費支辨ノ爲 公債發行ニ關スル 法律案外三件ト同 一ノ特別委員ニ付 託ス	國務大臣 政府委員 出席
提出	昭和十二年九月四日 政府提出(案題)		
決議	昭和十二年九月八日 可決		
奏上	昭和十二年九月八日 裁可ヲ奏請ス		
公布	昭和十二年九月十日 法律第八十七號		
衆議院議案	昭和十二年九月七日衆議院ヨ リ可決ノ旨ヲ記シテ政府提 出案ヲ送付セラル		
復往院議	同日日本案可決ノ旨ヲ衆議院 ニ通知ス		

第七十二回 諸表(議案表)

六一八

備考	備
	昭和十二年九月七日日本案ヲ配付ス(原案ハ參考ノ爲九月四日) 同日議事日程ヲ變更シテ第一讀會ヲ加フ 同日委員長ヨリ可決報告書ヲ提出ス 同日右報告書ヲ配付ス 同日議事日程ヲ變更シテ第一讀會ノ續、第二、第三讀會ヲ 加フ

第七十二回 諸表(議案表)

六一九

豫 算 案

議案題目	會議	委員	國務大臣出席
昭和十二年度歳入歳出總豫算追加案(第一號) 外務、内務、大藏、司法、文部、農林、商工、逓信各省所管	(本會議) 昭和十二年九月八日 會議 豫算委員會開會ノ日時ハ常任委員會表中ニ掲載セルヲ以テ茲ニ之ヲ略ス以下之ニ同シ	豫算委員ノ氏名ハ常任委員會表中ニ掲載セルヲ以テ茲ニ之ヲ略ス以下之ニ同シ	昭和十二年九月八日 國務大臣出席 内閣總大臣 近衛 文麿 外務大臣 廣田 弘毅 内務大臣 馬場 銜一 司法大臣 鹽野 季彦 逓信大臣 永井 柳 太郎 文部大臣 安井 英二 農林大臣 賀屋 興宣 商工大臣 伯有 馬 賴寧 政府委員 吉野 信次 内閣書記 風見 章 官制局長 瀧 正雄 外務參與 船田 中 官務書記 熊谷 憲一 社會局部長 山崎 巖 大藏政務 太田 正孝 大藏參與 中村三之丞 官廳主 谷口 恒二 計局長 大矢半次郎 大藏省主 稅局長
提出 昭和十二年九月四日 政府提出			
決議 昭和十二年九月八日 可決			
奏 昭和十二年九月八日 裁可ヲ奏請ス			
公布 昭和十二年九月十日 公布			
衆議院議案 昭和十二年九月七日衆議院ヨリ可決ノ旨ヲ記シテ政府提出案ヲ送付セラル 同日日本案可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知ス			

第七十二回 諸表(議案表)

備考	備
	昭和十二年九月七日日本案ヲ配付ス(原案ハ參考ノ爲九月四日同八日委員長ヨリ可決報告書ヲ提出ス) 同日右報告書ヲ配付ス 同日議事日程第五號ヲ以テ會議ヲ即日ト定メ同日程ヲ配付シ官報ニ報告ス
	大藏省理 關原 忠三 大藏局長 入間野武雄 大藏省主 山田鐵之助 計局長 氏家 武 大藏省主 廣瀬 豊作 大藏參與 藤田 若水 官廳主 齋藤 直一 内務省政 内ヶ崎作三郎 農林省農 高橋 守平 農林省農 小濱 八彌 農林省米 荷見 安 農林省工 小島 新一 農林省統 黑田 鴻五 農林省記 波江野 繁 貿易局長 寺尾 進 官廳主 田島勝太郎 逓信政務 田島勝太郎 逓信參與 犬養 健 逓信省管 小野 猛

第七十二回 諸表(議案表)

豫 算 案

議案題目	會議	委員	出席
昭和十二年各特別會計歲入歳出豫算追加案(特第一號) 大藏、陸軍、海軍、文部、拓務各省所管	(本會議) 昭和十二年九月八日 會議	國務大臣 政府委員	昭和三十二年九月八日 (本會議) 出席
提出 昭和十二年九月四日 政府提出			內閣總務長官 近衛 文麿 陸軍大臣 米内 光政 海軍大臣 杉山 元 文部大臣 安井 英二 大藏大臣 賀屋 興宣 拓務大臣 大谷 尊由 政府委員 內閣書記官長 風見 章 法制局長 瀧 正雄 大藏政務次官 太田 正孝 大藏參與官 中村三之丞 大藏省主計局長 谷口 恒二 大藏省主計局長 大矢半次郎 稅務局長 關原 忠三 大藏省理局長 入間野武雄 大藏省銀行局長 山田鐵之助 大藏書記官
決議 昭和十二年九月八日 可決			
奏 昭和十二年九月八日 裁可ヲ奏請ス			
公布 昭和十二年九月十日 公布			
衆議院議案 昭和十二年九月七日衆議院ヨリ可決ノ旨ヲ記シテ政府提出案ヲ送付セラル 同日日本案可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知ス			

第七十二回 諸表(議案表)

六三三

考 備

昭和十二年九月七日日本案ヲ配付ス(原案ハ參考ノ爲九月四日豫メ之ヲ配付セリ) 同日委員長ヨリ可決報告書ヲ提出ス 同日右報告書ヲ配付ス 同日議事日程第五號ヲ以テ會議ヲ即日ト定メ同日程ヲ配付シ官報ニ報告ス	同 陸軍政務次官 加藤久米四郎 陸軍參與官 比佐 昌平 陸軍中將 後宮 淳 陸軍主計少將 石川半三郎 海軍參與官 岸田 正記 海軍主計中將 村上 春一 海軍中將 豊田 副武 海軍主計大佐 山本丑之助 文部政務次官 内ヶ崎作三郎 次官 八角 三郎 拓務參與官 伊禮 肇 拓務書記官 副島 勝 朝鮮總督府財務局長 林 繁藏 臺灣總督府財務局長 嶺田 丘造
--	---

第七十二回 諸表(議案表)

六三三

案 算 豫

議案題目	會 議	委 員	出席
臨時軍事費豫算案	昭和十二年九月八日 （本會議） 會 議	國務大臣 政府委員	出席
提出	昭和十二年九月四日 政府提出		
議決	昭和十二年九月八日 可 決		
奏上	昭和十二年九月八日 裁可ヲ奏請ス		
公布	昭和十二年九月十日 公 布		
衆議院復往	昭和十二年九月七日衆議院ヨリ可決ノ旨ヲ記シテ政府提出案ヲ送付セラル 同八日本案可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知ス		
		昭和三十二年九月八日 （本會議）	昭和三十二年九月八日 （本會議）
		內閣書記官長 風見 章 法制局長 瀧 正雄 大藏政務次官 太田 正孝 大藏參與官 中村三之丞 大藏省主計局長 谷口 恒二 大藏省主稅局長 大矢半次郎 大藏省理財局長 關原 忠三 大藏省銀行局長 入間野武雄 大藏書記官 山田鐵之助	昭和三十二年九月八日 （本會議） 內閣總務大臣 近衛 文麿 海軍大臣 米内 光政 陸軍大臣 杉山 元 大藏大臣 賀屋 興宣

第七十二回 諸表（議案表）

考	備
	昭和十二年九月七日日本案ヲ配付ス（原案ハ參考ノ爲九月四日豫メ之ヲ配付セリ） 同八日委員長ヨリ可決報告書ヲ提出ス 同日右報告書ヲ配付ス 同日議事日程第五號ヲ以テ會議ヲ即日ト定メ同日程ヲ配付シ官報ニ報告ス
	同 氏家 武 預金部長 廣瀬 豐作 金局長 加藤久米四郎 陸軍政務次官 比佐 昌平 陸軍參與官 後宮 淳 陸軍中將 石川半三郎 少將 岸田 正記 海軍參與官 村上 春一 海軍主計中將 豐田 副武 海軍中將 山本丑之助 海軍主計大佐

第七十二回 諸表（議案表）

議案題目	會議	委員	出席
陸海軍將兵ニ對スル感謝決議案	(本會議) 昭和十二年九月五日 會議		國務大臣 出席 政府委員 出席 (本會議) 昭和十二年九月五日 內閣總長 近衛 文麿 理大臣 公爵 廣田 弘毅 外務大臣 馬場 銑一 內務大臣 米内 光政 海軍大臣 鹽野 清 司法大臣 陸軍大臣 杉山 元 逓信大臣 永井 柳 太郎 文部大臣 安井 英二 大藏大臣 賀屋 興宣 農林 伯爵 有馬 賴寧 大臣 伯爵 吉野 信次 商工大臣 中島 知久平 鐵道大臣 大谷 尊由 拓務大臣
提 出 者 公爵 島津 忠重 外五名 贊成者 公爵 德川 圀順 外三十九名	決議 可決 昭和十二年九月五日		
備 考	昭和十二年九月四日本案ヲ配付ス 同日議事日程第二號ヲ以テ會議ヲ五日ト定メ同日程ヲ配付 シ官報ニ報告ス 同日議場ニ於テ米内海軍大臣、杉山陸軍大臣ハ各謝辭ヲ述ヘタリ 同日決議文ヲ陸軍大臣、海軍大臣ニ送致ス		

議 動

議事日表

月日	件名	議事日程	件數	時間	出席	出席	出席
月日	件名	議事日程	件數	時間	議員數	議員數	議員數
昭和十二年九月三日(金曜日)	一前會ノ部屬及部長理事ノ繼續決定 一開院式			午前九時六分 午前九時七分	一分三〇八	一〇二	
九月四日(土曜日)	一勅語奉答書案ノ議決 一全院委員長ノ選舉 一常任委員ノ選舉(各部選舉) 一本會期中議案配付後及各讀會間ニ於ケル定期ノ日數ヲ經スシテ議事ヲ開クコトヲ得ル件ノ議決 一國務大臣ノ演說ニ關スル件(國務大臣公爵近衛文麿施政方針演說、國務大臣廣田弘毅外交ニ關スル演說) 一國務大臣杉山元支那事變ニ關スル報告 一國務大臣米内光政支那事變ニ關スル報告 一陸海軍將兵ニ對スル感謝決議案(公爵島津忠重外五名發議)(可決) 一勅語奉答書案呈ノ報告及勅語ノ報告	第一 第二 同	四	午後三時四十三分 午後四時五十一分	一時八分二五五	一五五	七八

<p>九月五日 (日曜日)</p> <p>一軍需工業動員法ノ適用ニ關スル法律案第一讀會、臨時馬ノ移動制限ニ關スル法律案第一讀會 一右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 一本會期中議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉ハ特別ナル場合ヲ除キ總テ之ヲ議長指名ト爲ス件ノ議決 一豫算、請願委員辭任ノ許可</p>	同 同	七 午前十時十一分 午前十二時五十五分	一時四十四分三三〇	八〇 八八五
<p>九月六日 (月曜日)</p> <p>一臨時馬ノ移動制限ニ關スル法律案第一讀會ノ續(委員長報告)、軍需工業動員法ノ適用ニ關スル法律案第一讀會ノ續(委員長報告) 一同第二讀會 一同第三讀會(以上可決)</p>	第三	四 午後三時十七分 午後三時二十七分	分二八五 一二五 一五二	
<p>一本會期中會議時間ニ於テ委員會開會ノ要求アリタル場合議長之カ許否ヲ決シ得ル件ノ議決 一國務大臣ノ演說ニ關スル件(國務大臣賀屋興宣臨時軍事費豫算案及昭和十二年度追加豫算案並支那事變ニ對スル財政ノ計畫ニ付演說) 一米穀ノ應急措置ニ關スル法律案第一讀會、臨時肥料配給統制法案第一讀會 一右各案特別委員ノ數ヲ十八名ト爲ス件ノ議決 一輸入品等ニ關スル臨時措置ニ關スル法律案第一讀會</p>	第四			

九月七日
(火曜日)

<p>一右案特別委員ノ數ヲ十八名ト爲ス件ノ議決 一臨時船舶管理法第一讀會 一右案特別委員ノ數ヲ十八名ト爲ス件ノ議決 一支那事變ニ關スル臨時軍事費支辨ノ爲公債發行ニ關スル法律案第一讀會、臨時軍事費特別會計法案第一讀會、支那事變ノ爲從軍シタル軍人及軍屬ニ對スル租稅ノ減免、徵收猶豫等ニ關スル法律案第一讀會、臨時資金調整法案第一讀會、外國爲替管理法中改正法律案第一讀會 一右各案特別委員ノ數ヲ二十五名ト爲ス件ノ議決</p>	第五	十五 午後三時九分 午後五時五十五分	二時四十六分三二二	八九 三九二
<p>一昭和十二年度歳入歳出總豫算追加案(第一號)會議(委員長報告)、昭和十二年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第一號)會議(委員長報告)、臨時軍事費豫算案會議(委員長報告)(以上可決) 一米穀ノ應急措置ニ關スル法律案第一讀會ノ續(委員長報告)、臨時肥料配給統制法案第一讀會ノ續(委員長報告) 一同第二讀會 一同第三讀會(以上可決) 一臨時船舶管理法第一讀會ノ續(委員長報告) 一同第二讀會 一同第三讀會(可決)</p>	同 同	十七 午後三時六分 午後四時四十一分	一時三十五分三二六	八四 三一五

九月九日 (木曜日)	計 五日	備 考
一閉院式 一閉院式ノ日ハ日數ニ算入セス 一議長、副議長ハ出席議員數ニ算入セス	四七	一本表件名欄ニハ議事日程及特別ノ事項ヲ記載ス 一本表ハ議事日程及特別ノ議決ニ係ル事項ヲ各一件トシテ記載ス 一本表ノ時數ハ開議ヨリ散會ニ至ル迄ノ延長時間ヲ示シタルモノトス、即チ報告、會議及休憩等ニ要シタル時間ノ總和ナリ 一議院成立ノ日、其ノ時數及其ノ出席、闕席、各議員數ハ總計ニ算入セス 一閉院式ノ日ハ日數ニ算入セス 一議長、副議長ハ出席議員數ニ算入セス
一支那事變ニ關スル臨時軍事費支辨ノ爲公債發行ニ關スル法律案第一讀會ノ續(委員長報告)、臨時軍事費特別會計法案第一讀會ノ續(委員長報告)、支那事變ノ爲從軍シタル軍人及軍屬ニ對スル租稅ノ減免、徵收猶豫等ニ關スル法律案第一讀會ノ續(委員長報告)、臨時資金調整法案第一讀會ノ續(委員長報告)、外國爲替管理法中改正法律案第一讀會ノ續(委員長報告)	七時二十三分一、五二七五三三二、八三三	
一同第二讀會 一同第三讀會(以上可決)		

自第七十一回議會 開會日時比較表

議 會	會 期	休 會 日 數	開 會 日 數	開 會 時 數	每 日 平 均 開 會 時 數 (分位未滿ハ切捨トス)
第一回	九十九日 丙延長九日	休會五十二日	四十七日	百九十六時五十六分	四時十一分
第二回	定期九十日 實期三十日	休會九日	二十一日	六十二時四十一分	二時五十九分
第三回	四十日	休會八日	二十六日	九十九時五十九分	三時五十分
第四回	九十二日 丙延長二日	休會三十七日	四十一日	百五十四時十一分	三時四十五分
第五回	定期九十日 實期三十三日	休會十二日	十日	三十時	三時
第六回	定期二十一日 實期十九日	休會三日	十六日	六十五時五十分	四時六分
第七回	定期七日 實期四日	休會一日	三日	十一時十二分	三時四十四分
第八回	九十九日	休會四十九日	四十一日	百八十八時十八分	二時三十八分
第九回	九十二日 丙延長二日	休會三十八日 停會十日	四十五日	百十九時五十八分	二時三十九分

第七十二回 諸表(開會日時比較表)

第十回	九十日	休會六十四日	二十六日	八十六時四十九分	三時二十分
第十一回	定期九十日 實期二日	休會五日	二日	四時五十八分	二時二十九分
第十二回	定期二十八日 實期二十三日 內延長七日	休會三日	十六日	五十九時四十八分	三時四十四分
第十三回	九十七日 內延長七日	休會五十三日	四十四日	百六十一時四十九分	三時四十分
第十四回	九十四日 內延長四日	休會六十二日	三十二日	百二時三十三分	三時十二分
第十五回	九十日	休會五十八日 停會十五日	十八日	三十八時三十七分	二時八分
第十六回	九十日	休會六十五日	二十五日	五十六時三十五分	二時十五分
第十七回	定期九十日 實期二十日	休會六日 停會十二日	二日	二時三十四分	一時十七分
第十八回	二十四日 內延長三日	休會十五日 停會三日	六日	十二時二十二分	二時三分
第十九回	定期九十日 實期二日	休會一日	一日	一時五十三分	一時五十三分
第二十回	十日	休會五日	五日	八時四十七分	一時四十五分

第二十一回	九十日	休會七十二日	十八日	三十二時二十一分	一時四十七分
第二十二回	九十日	休會六十九日	二十一日	三十九時十九分	一時五十二分
第二十三回	九十日	休會七十一日	十九日	四十三時三十五分	二時十七分
第二十四回	九十日	休會七十一日	十九日	三十九時十三分	二時三分
第二十五回	九十日	休會六十九日	二十一日	四十三時三分	二時三分
第二十六回	九十日	休會七十一日	十九日	三十六時四十三分	一時五十五分
第二十七回	九十日	休會六十九日	二十一日	四十二時二十分	二時
第二十八回	九十日	休會七十五日	十五日	二十六時十一分	一時四十四分
第二十九回	三日	休會一日	二日	四時五十六分	二時二十八分
第三十回	九十日	休會五十六日 停會二十三日	十二日	二十三時三十五分	一時五十七分
第三十一回	九十日	休會七十日 停會三日	十八日	四十八時三十一分	二時四十一分

第七十二回 諸表(開會日時比較表)

第三十二回	三	日	休會一日	二	日	三時五十四分	一時五十七分
第三十三回	七	日	休會四日	三	日	二時五十六分	五十八分
第三十四回	六	日 <small>內延長三日</small>	休會三日	三	日	四時二十四分	一時二十八分
第三十五回	定期九十日 實期十九日	日	休會十三日	六	日	六時十八分	一時三分
第三十六回	二十一	日	休會十日	十一	日	四十四時三十九分	四時三分
第三十七回	九十	日	休會七十二日	十八	日	五十九時六分	三時十七分
第三十八回	定期九十日 實期三十日	日	休會二十八日	二	日	四時三分	二時一分
第三十九回	二十二日 <small>內延長一日</small>	日	休會十三日	九	日	二十時十分	二時十四分
第四十回	九十	日	休會七十二日	十八	日	四十五時二十七分	二時三十一分
第四十一回	九十	日	休會六十五日	二十五	日	七十六時三十七分	三時三分
第四十二回	定期九十日 實期六十三日	日	休會四十五日	十八	日	五十八時十八分	三時十四分

第七十二回 諸表(開會日時比較表)

第四十三回	二十八	日	休會十一日	十七	日	八十三時十四分	四時五十三分
第四十四回	九十	日	休會六十四日	二十六	日	百二十六時十分	四時五十一分
第四十五回	九十	日	休會五十八日	三十二	日	百四十時四十八分	四時二十四分
第四十六回	九十	日	休會六十一日	二十九	日	百四十二時二十六分	四時五十四分
第四十七回	十三日 <small>內延長三日</small>	日	休會四日	九	日	三十五時四十四分	三時五十八分
第四十八回	定期九十日 實期三十六日	日	休會三十日	六	日	二十四時五十二分	四時八分
第四十九回	二十一	日	休會十一日	十	日	二十四時四十七分	二時二十八分
第五十回	九十五日 <small>內延長五日</small>	日	休會六十二日	三十三	日	百七十五時十四分	五時十八分
第五十一回	九十	日	休會五十五日	三十一	日	百二十六時五十分	四時五分
第五十二回	九十	日	休會六十日 停會三日	二十七	日	九十六時二十九分	三時三十四分
第五十三回	五	日	休會三日	二	日	八時四十四分	四時二十二分

第七十二回 諸表(開會日時比較表)

第五十四回	定期九十日 實期二十七日	休會二十五日	二日	四時三十一分	二時十五分
第五十五回	十四日	休會二日 停會六日	八日	四十二時四十五分	五時二十分
第五十六回	九十日	休會五十六日	三十四日	百八十一時十三分	五時十九分
第五十七回	定期九十日 實期二十七日	休會二十五日	二日	四時五分	二時二分
第五十八回	二十一日	休會七日	十四日	五十時四十四分	三時三十七分
第五十九回	九十二日 內延長二日	休會五十一日	四十一日	百八十七時四十二分	四時三十四分
第六十回	定期九十日 實期二十七日	休會二十五日	二日	四時五十九分	二時二十九分
第六十一回	五日	休會二日	三日	十時五十八分	三時三十九分
第六十二回	十四日	休會五日	九日	二十一時三十分	二時二十三分
第六十三回	十三日 內延長五日	休會三日	十日	五十五時四十五分	五時三十四分
第六十四回	九十日	休會五十九日	三十一日	七十二時二十九分	二時二十分

第六十五回	九十日	休會五十七日	三十三日	百三時三十六分	三時八分
第六十六回	十二日 內延長五日	休會三日	九日	二十六時四十九分	二時五十八分
第六十七回	九十日	休會六十七日	二十三日	六十二時三十二分	二時四十三分
第六十八回	定期九十日 實期二十七日	休會二十五日	二日	二時四十八分	一時二十四分
第六十九回	二十三日 內延長二日	休會七日	十六日	六十四時十四分	四時
第七十回	九十六日 內延長六日	休會五十五日 停會十三日	二十八日	六十八時三十二分	二時二十六分
第七十一回	十四日	休會三日	十一日	二十二時五十八分	二時五分
第七十二回	五日	休會三日	五日	七時二十三分	一時二十八分

備 本表會期欄ニ於テ定期及實期ヲ掲ケタルハ衆議院解散ヲ命セラレタル各議會及會期中閉會ヲ命セラレタル第七回議會ノ會期ヲ示シタルモノトス但シ第七十回議會ハ會期終了日ニ衆議院解散ヲ命セラレタルヲ以テ定期及實期ヲ掲ケス
本表中休會、停會及開會ノ各日數ノ和カ會期日數ニ一致セサル場合アルハ停會ヲ命セラレタル當日議事アリタル場合ニ之ヲ停會及開會ノ各日數中ニ算入シタルニ依ル
考 第五回議會ノ停會日數ハ二十四日間ナルモ十一日ヲ經テ衆議院解散セラレタリ

第七十二回 諸表(開會日時比較表)

自第一回議會至第七十二回議會 議案件數、議事件數、開會日數及時數一覽表

議	會	議案件數	議事件數	開會日數	開會時數	每一日平均
第一	回	二九	一二一	四日	一九六分	四時一分
第二	回	二五	九三	二日	六二四	二五九
第三	回	三七	一七二	二日	九九五	三五〇
第四	回	五九	二八〇	四日	一五四	三四五
第五	回	二三	八七	一日	三〇〇	三〇〇
第六	回	五五	二四〇	一日	六五五	四〇六
第七	回	六	三三	三日	一一二	三四四
第八	回	八二	四六二	四日	一〇八一	二三八
第九	回	一七一	七〇二	四日	一一九五	二九九
第十	回	一一八	四五九	二日	八六四	三二〇
第十一	回	三	四	二日	四五八	二二九

第十二	回	五四	二五一	一日	五九四	三四四
第十三	回	二一九	八八九	四日	一六一四	三四〇
第十四	回	一三八	五三五	三日	一〇二二三	三二二
第十五	回	七六	二九三	一日	三八三七	二〇八
第十六	回	一一七	四〇八	二日	五六三	二二五
第十七	回	四	一四	二日	二三四	一一七
第十八	回	二七	七五	六日	一一二二	二〇三
第十九	回	一	五	一日	一五三	一五三
第二十	回	二八	六九	五日	八四七	一四五
第二十一	回	一一八	三七八	一日	三三二	一四七
第二十二	回	一〇一	三六五	二日	三九一	一五二
第二十三	回	九九	三七九	一日	四三三	二一七
第二十四	回	一〇八	四三六	一日	三九一	二〇三

第七十二回 諸表(議案件數、議事件數、開會日數及時數一覽表)

第二十五回	九五	三三九	二二	四三〇三	二〇三
第二十六回	一一八	五〇〇	一九	三六四三	一四四
第二十七回	一三五	五六五	二二	四二二〇	二〇三
第二十八回	六五	三三六	一五	二六一一	一四四
第二十九回	四	一〇	二	四五六	二二八
第三十回	五八	一八七	二二	二二三五	一五七
第三十一回	八四	三三二	一八	四八三一	二四一
第三十二回	四	九	二	三五四	一五七
第三十三回	二	一三	三	二五六	〇五八
第三十四回	五	二五	三	四二四	一一八
第三十五回	一二	四七	六	六一八	一〇三
第三十六回	五五	一九〇	一一	四四三九	四〇三
第三十七回	九五	三八六	一八	五九〇六	三一七

第七十二回 諸表(議案件數、議事件數、開會日數及時數一覽表)

第三十八回	四	一一	二	四〇三	二〇一
第三十九回	四四	一五八	九	二〇一〇	二一四
第四十回	八七	三〇六	一八	四五二七	二三一
第四十一回	九七	三八三	二五	七六三七	三〇三
第四十二回	五五	一一六	一八	五八一八	三一四
第四十三回	九一	三四二	一七	八三一四	四三三
第四十四回	一五〇	七二〇	二六	一二六一〇	四五二
第四十五回	一一五	五二六	三三	一四〇四八	四二四
第四十六回	九一	四四五	二九	一四二二六	四五四
第四十七回	二三	七〇	九	三五四四	三五八
第四十八回	二	二五	六	二四五二	四〇八
第四十九回	四六	一七〇	一〇	二四四七	二二八
第五十回	一〇五	四四四	三三	一七五一四	五一八

第七十二回 諸表(議案件數、議事件數、開會日數及時數一覽表)

第五十一回	一一五	四七六	三一	一二六五〇	四〇五
第五十二回	九八	四一五	二七	九六二九	三三四
第五十三回	三	一五	二	八四四	四二二
第五十四回	三	九	二	四三一	二一五
第五十五回	一八	五六	八	四二四五	五二〇
第五十六回	一六〇	五三〇	三四	一八一三	五一九
第五十七回	一	五	二	四〇五	二〇二
第五十八回	二七	一〇七	一四	五〇四四	三三七
第五十九回	一三八	四九七	四一	一八七四二	四三四
第六十回	一	一一二	二	四五九	二二九
第六十一回	一一	二二七	三	一〇五八	三三九
第六十二回	二七	一一一	九	二一三〇	二二三
第六十三回	二四	一二七	一〇	五五四五	五三四

第六十四回	一一七	四九二	三一	七三二九	二二〇
第六十五回	一二三	四七三	三三	一〇三三六	三〇八
第六十六回	八	四七	九	二六四九	二五八
第六十七回	九一	三五二	二二	六二三三	二四三
第六十八回	一	八	二	二四八	一二四
第六十九回	六七	二六〇	一六	六四一四	四〇〇
第七十回	八八	三七九	二八	六八〇二	二二五
第七十一回	六〇	二〇〇	一一	二二五八	二〇五
第七十二回	一五	四七	五	七二三	一二八

考 備

議案件數ハ政府提出、衆議院提出及貴族院議員提出ニ係ル各種議案ノ總件數ヲ示ス但シ決算、國有財産報告書、資格及選舉争訟、請願、質問ノ件數ハ之ヲ算入セス
 議事件數ハ「議事日程」ニ掲グル所ノ總件數ニ依ル
 開會日數開會時數及每一日平均開會時數ハ「開會日時比較表」ニ依ル

第七十二回 諸表(議案件數、議事件數、開會日數及時數一覽表)

委員會表

名	稱	委員數	選舉ノ種類	會度	議數	了審 件查 數結	了審 件查 未結 數
資格審査委員會		九	各部選舉				
豫算委員會		六三	同			三	
懲罰委員會		九	同				
請願委員會		四五	同				
決算委員會		四五	同				四
軍需工業動員法ノ適用ニ關スル法律案特別委員會		九	議長指名		二		
軍需工業動員法ノ適用ニ關スル法律案							
臨時馬ノ移動制限ニ關スル法律案							
米穀ノ應急措置ニ關スル法律案特別委員會		一五	議長指名		二		
米穀ノ應急措置ニ關スル法律案						二	

臨時肥料配給統制法案							
輸出入品等ニ關スル臨時措置ニ關スル法律案特別委員會		一八	議長指名		二		一
輸出入品等ニ關スル臨時措置ニ關スル法律案							
臨時船舶管理法案特別委員會		一八	議長指名		二		一
臨時船舶管理法案							
支那事變ニ關スル臨時軍事費支辨ノ爲公債發行ニ關スル法律案特別委員會		二五	議長指名		二		五
支那事變ニ關スル臨時軍事費支辨ノ爲公債發行ニ關スル法律案							
臨時軍事費特別會計法案							
支那事變ノ爲從軍シタル軍人及軍屬ニ對スル租稅ノ減免、徵收猶豫等ニ關スル法律案							
臨時資金調整法案							
外國爲替管理法中改正法律案							
計							
常任委員會	五種						
特別委員會	五種						

常任委員會表

- 一 特別委員會ニ關スル記事ハ議案表ニ掲載セルヲ以テ之ヲ省略ス
- 一 氏名ノ冒頭ニ長ト記セルハ委員長、副ト記セルハ副委員長、△印ハ辭任、×印ハ補闕ヲ示ス
- 一 氏名ノ下ニ數字ヲ記セルハ其ノ選出ノ部ヲ示ス

第一 資格審査委員會

- | | | |
|--------------|-------------|------------|
| 長 伯爵柳 原義光(一) | 副男爵高 木喜寬(二) | 侯爵山 內豐景(八) |
| 子爵青 木信光(四) | 關屋貞三郎(五) | 松村真一郎(九) |
| 伊澤多喜男(六) | 三橋 彌(七) | 岩田宙造(三) |

一 昭和十二年九月四日各部ニ於テ本委員ヲ選舉ス
 一同月五日伯爵柳原義光委員長ニ、男爵高木喜寬副委員長ニ當選ス
 一本委員會ハ審査ノ事項ナキヲ以テ會議ヲ開クニ至ラス

第二 豫算委員會

- | | | |
|--------------|-------------|------------|
| 長 伯爵林 博太郎(三) | 副男爵千 秋季隆(一) | 公爵一 條實孝(七) |
| 公爵鷹 司信輔(二) | 公爵島 津忠承(四) | 侯爵細 川護立(六) |
| 侯爵中 御門經恭(一) | 侯爵大 隈信常(七) | 侯爵井 上三郎(一) |

員

- | | | |
|-------------|-------------|-------------|
| 伯爵川 村鐵太郎(一) | 伯爵酒 井忠正(六) | 子爵大 久保立(八) |
| 松浦鎮 次郎(二) | 子爵前 田利定(五) | 子爵野 村益三(一) |
| 子爵井 上匡四郎(七) | 子爵大 河內輝耕(四) | 子爵會 我祐邦(三) |
| 子爵西 尾忠方(二) | 子爵岡 部長景(五) | 子爵裏 松友光(八) |
| 子爵織 田信恒(六) | 子爵舟 橋清賢(八) | 子爵大 岡忠綱(一) |
| 眞野文 二(四) | 宇佐美 勝夫(六) | 男爵紀 俊秀(一) |
| 芳澤謙 吉(二) | 中川健 藏(四) | 男爵內 田重成(六) |
| 勝田主 計(三) | 太田政 弘(五) | 男爵塚 本清治(七) |
| 男爵淺 田良逸(三) | 男爵岩 倉道俱(八) | 男爵伊 渡邊汀(二) |
| 堀切善 次郎(六) | 男爵黑 崎定三(五) | 男爵伊 藤朝助(二) |
| 男爵大 藏公望(九) | 男爵大 森佳一(四) | 男爵橋 本圭三郎(八) |
| 男爵長 基連(七) | 男爵松 田正之(八) | 西野 元(三) |
| △竹越與 三郎(五) | 田所美 治(七) | 丸山鶴 吉(四) |
| 八田嘉 明(八) | 松村義 一(九) | 高鳥順 作(九) |
| 石川三 郎(三) | 江口定 條(三) | 鈴木幸 作(五) |
| 金子元 三郎(九) | 藤原銀 次郎(五) | 平沼亮 三(四) |
| 辻兵 吉(六) | 小林嘉 平治(九) | 大藪守 治(二) |
| 青木才 次郎(九) | × 水野甚 次郎(五) | |
| 米原章 三(九) | | |

會 議	回 數		開 會	休 憩	散 會
	年 月 日	時 分			
第一回	昭和十二年九月五日	午前九時五十三分			午前九時五十四分
第二回	同月七日	午後三時三十五分			午後六時二十分
第三回	同月八日	午前十時十二分			午前十二時四十九分

考 備
一 昭和十二年九月四日各部ニ於テ本委員ヲ選舉ス
一 同日分科ヲ設ケス分科審査ヲ省略シ質疑順位ハ前回議會ノ例ニ依リ之ヲ決定スヘキ決議ヲ爲ス
一 同日竹越與三郎委員ヲ辭任ス
一 同日六月第五部ニ於テ補選選舉ヲ行ヒ水野基次郎委員ニ當選ス
一 同日七月日本委員會ニ於テ衆議院ヨリ送付アリタル昭和十二年度歳入歳出總豫算追加案(第一號)、昭和十二年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第一號)、臨時軍事費豫算案ヲ受領ス
一 同日八月日本委員會ニ於テ昭和十二年度歳入歳出總豫算追加案(第一號)、昭和十二年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第一號)、臨時軍事費豫算案ハ總テ衆議院議決案ノ通可決スヘキモノナリト議決シ直ニ其ノ旨委員長ヨリ議長ニ報告ス

員 委
長 侯爵大久保利武(三) 副男爵松岡均平(一) 侯爵淺野長之(九)
子爵梅小路定行(五) 木場貞長(八) 嘉納治五郎(四)
男爵赤松範一(七) 菅原通敬(二) 下出民義(六)

第三 懲罰委員會

考 備

一 昭和十二年九月四日各部ニ於テ本委員會ヲ選舉ス

一 同日五日侯爵大久保利武委員長、男爵松岡均平副委員長ニ當選ス

一本委員會ハ審査ノ事項ナキヲ以テ會議ヲ開クニ至ラス

第四 請願委員會

員	委	考 備
長 伯爵酒井忠克(五) 副男爵近藤滋彌(四)	公爵山縣有道(三) 侯爵山階芳麿(六)	公爵島津忠重(八)
侯爵筑波藤麿(五) 子爵今城定政(三)	子爵加藤泰通(八)	侯爵池田宣政(六)
子爵立花種忠(四) 子爵谷儀一(四)	子爵秋元春朝(三)	子爵加藤泰通(八)
子爵富小路隆直(八) 子爵京極高修(九)	子爵增山正興(六)	子爵加藤泰通(八)
松井茂(二) 出淵勝次(七)	佐藤鐵太郎(九)	子爵加藤泰通(八)
下村安(六) 男爵菊池武夫(七)	男爵有地藤三郎(四)	子爵加藤泰通(八)
今井田清徳(三) 男爵前田勇(二)	男爵高崎弓彦(一)	子爵加藤泰通(八)
男爵奥田剛郎(六) 男爵安場保健(五)	男爵肝付兼英(九)	子爵加藤泰通(八)
三浦新七(四) 遠藤柳作(九)	松本學(二)	子爵加藤泰通(八)
中村圓一郎(二) × 林平四郎(八)	西本健次郎(九)	子爵加藤泰通(八)
油井徳藏(七) 吉田羊治郎(一)	宇野勇作(五)	子爵加藤泰通(八)
細田安兵衛(七) 長野忠次(一)	田中徳兵衛(三)	子爵加藤泰通(八)
大澤徳太郎(一) 山本米三(八)	絲原武太郎(二)	子爵加藤泰通(八)

△ 水野甚次郎(八)
上野喜左衛門(一)

金岡又左衛門(五)

山上岩(二七)

考 備

一昭和十二年九月四日各部ニ於テ本委員ヲ選舉ス
一同月五日伯爵酒井忠克委員長ニ、男爵近藤滋彌副委員長ニ當選ス
一同日水野甚次郎委員ヲ辭任ス
一同月六日第八部ニ於テ補關選舉ヲ行ヒ林平四郎委員ニ當選ス
一本委員會ハ會議ヲ開クニ至ラスシテ議會閉會トナレリ

第五 決算委員會

委

長男爵東久世秀雄(五)	副子爵片桐貞央(七)	公爵岩倉具榮(七)
侯爵西郷從德(一)	侯爵徳川義親(九)	侯爵佐竹義春(五)
侯爵小村捷治(五)	伯爵橋本實斐(五)	伯爵後藤一藏(八)
子爵清岡長言(一)	子爵水無瀬忠政(三)	子爵松平乘統(一)
子爵保科正昭(七)	子爵井上勝純(九)	子爵梅園篤彦(九)
佐藤三吉(一)	織田萬(四)	小幡酉吉(五)
三井清一郎(六)	白根竹介(三)	男爵飯田精太郎(一)
男爵東郷安(三)	男爵原田熊雄(二)	男爵足立豊(六)
男爵關義壽(六)	男爵佐藤達次郎(四)	男爵園田武彦(八)
山岡萬之助(六)	大塚惟精(六)	菊池恭三(七)

員

名取忠愛(三)	久保市三郎(二)	武井覺太郎(八)
上松泰造(三)	山隈康(九)	久恒貞雄(九)
久米田新太郎(七)	松本勝太郎(八)	野村徳七(二)
金成通(四)	大和田健三郎(八)	岩崎清行(四)
出光佐三(二)	松岡潤吉(二)	大西虎之介(四)

考 備

一昭和十二年九月四日各部ニ於テ本委員ヲ選舉ス
一同月五日男爵東久世秀雄委員長ニ、子爵片桐貞央副委員長ニ當選ス
一本委員會ハ審査ノ事項ナキヲ以テ會議ヲ開クニ至ラス

請願書一覽表

關 係 官 廳 名	請 願 件 名	請願書 數	請 願 人 數	委員會ノ經過			本會議ノ經過		
				未 了 查	不 採 擇	採 擇	可 決	否 決	未 決
省務内	和歌山縣勝浦港内暗礁取除工事國庫補助ノ件	二	一	一	一				
省部文	教科書中新田義貞公ノ事蹟増補ノ件	三	九	一	一				
省林農	昭和十二年水害耕地復舊事業國庫補助ノ件	一	一八五	一	一				
省信遞	新田義貞公六百年祭ニ際シ記念切手發行ノ件	四	九	一	一				
合計			二〇四	四	四				

請願書關係地方別表

關 係 地 方 名	件 數	請願人 數	委員會ノ經過			本會議ノ經過		
			未 了 查	不 採 擇	採 擇	可 決	否 決	未 決
和歌山	一	一	一					
雜	三	二〇三	三					
合計	四	二〇四	四					

請願書紹介議員別表

議員種別	議員數	紹介件數		請願人數	
		件數	總數ニ對スル割合	人數	總數ニ對スル割合
皇族議員	一八				
公侯爵議員	五二	二	・五〇	一八	・〇九
伯子男爵議員	一五〇				
勅選議員	一二五				
帝國學士院會員議員	四				
多額納稅者議員	六六	二	・五〇	一八六	・九一
計	四一五	四	一・〇〇	二〇四	一・〇〇

備考 議員一人ノ平均紹介件數及同平均請願人數ハ皇族、公侯爵議員ニ付テハ會期中最多ノ時ノ員數ニ依リ又互選及勅選ノ議員ニ付テハ其ノ定數ニ依ル

自第七十二回議會 請願書受領件數比較表

議 會	期	請願書受領總件數	同上一日平均數
第一回	九九日	一、〇四八	一〇・六
第二回	三〇	一、二一七	四〇・六
第三回	四〇	六一七	一五・五
第四回	九二	三、〇七〇	三三・四
第五回	三三	二、六四六	八〇・二
第六回	一九	四二〇	二二・一
第七回	四	九	二・三
第八回	九〇	三三一	三・七
第九回	九二	九五六	一〇・四
第十回	九〇	六六三	七・四

第七十二回 諸表 (請願書受領件數比較表)

第十一回	二	一八	九〇
第十二回	二三	一六六	七二
第十三回	九七	六七〇	六九
第十四回	九四	五二六	五六
第十五回	九〇	一〇六五	一八
第十六回	九〇	二八七	三二
第十七回	二〇	一	一
第十八回	二四	一三六	五七
第十九回	二	一	一
第二十回	一〇	三七	三七
第二十一回	九〇	一九八	二二
第二十二回	九〇	七六一	八五
第二十三回	九〇	三七五	四二

第七十二回 諸表 (請願書受領件數比較表)

第二十四回	九〇	三八八	四三
第二十五回	九〇	三六四	四〇
第二十六回	九〇	四〇八〇	四五三
第二十七回	九〇	九七三	一〇八
第二十八回	九〇	九五四	一〇六
第二十九回	三	二	七
第三十回	九〇	二二五	二四
第三十一回	九〇	一〇八〇	一二〇
第三十二回	三	一	一
第三十三回	七	七	一〇
第三十四回	六	三	五
第三十五回	一九	二五八	一三六
第三十六回	二二	八三九	四〇〇

第七十二回 諸表 (請願書受領件數比較表)

第三十七回	九〇	一六八六	一八七
第三十八回	三〇	三七〇	一二三
第三十九回	二二	二二二	一〇五
第四十回	九〇	八一四	九〇
第四十一回	九〇	八七三	九七
第四十二回	六三	九二七	一五〇
第四十三回	二八	二九〇	一〇四
第四十四回	九〇	二五六五	二九〇
第四十五回	九〇	一五四七	一七〇
第四十六回	九〇	一三三四	一五〇
第四十七回	一三	七	五
第四十八回	三六	二六	七
第四十九回	二一	二二一	一〇五

第七十二回 諸表 (請願書受領件數比較表)

第五十回	九五	九六二	一〇一
第五十一回	九〇	八九三	九九
第五十二回	九〇	五八五	六五
第五十三回	五	一	二
第五十四回	二七	一〇五	三九
第五十五回	一四	六五	四六
第五十六回	九〇	五九九	六七
第五十七回	二七	六	二
第五十八回	二二	一八五	八八
第五十九回	九二	四九四	五四
第六十回	二七	一一	五
第六十一回	五	八	一六
第六十二回	一四	一二八	九一

第七十二回 諸表(請願書受領件數比較表)

第六十三回	一三	八九	六八
第六十四回	九〇	三五四	三九
第六十五回	九〇	六一四	六八
第六十六回	一二	二二	一八
第六十七回	九〇	五四二	六〇
第六十八回	二七	三九	一四
第六十九回	二三	一四一	六一
第七十回	九六	四九七	五二
第七十一回	一四	六五	四六
第七十二回	五	四	八

六六〇

自第七十一回議會 議員出席比例一覽表

議 會	開院式日ヨリ 至ルマテノ議 員總數	開院式日 及開會日 數	同上平均一 日ノ議員出 席數	議員總數 ニ對スル 議員出席 數ノ割合	出席議員ノ 最モ多キ日	出席議員最 モ多キ日ノ 事項概要	出席議員最 モ少キ日	出席議員ノ 最モ少キ日 ノ事項概要
第一回	二百四十五人	四十八日	百四十一人弱	五割七分弱	明治二十三年 二月四日 二百三人	辯護士法案	明治二十四年 二月五日 百人	戶籍法案
第二回	二百四十九人	二十二日	百六十一人強	六割二分弱	二十四年十一月 二十六日 二百二人	開院式	二十四年十二月 十七日、二十三日 百三十三人	地震取調局設 置等ノ建議案 外四件
第三回	二百六十二人	二十七日	百八十八人強	六割八分弱	二十五年六月 二十三日 二百三人	鐵道敷設法案 外五件	二十五年六月 一日、十四日 百三十四人	砂鑛採取法案 外十件
第四回	二百七十二人	四十二日	百六十二人強	五割九分強	二十六年二月 二十五日 二百九十七人	豫定鐵道線路 中云々法律案 外八件	二十六年一月 十八日 百三十八人	集會政社法案 外三件
第五回	二百七十七人	十一日	百七十五人強	六割三分強	二十六年十二月 十一日、十二日 百八十八人	狩獵法案外十 七件	二十六年十二月 七日、十八日 百五十八人	司法官試補實 地修習期限ニ 關スル法律案 外七件
第六回	二百九十二人	十七日	百九十三人弱	六割六分強	二十七年五月 三十一日 二百九人	華族令中追加 ノ關シ御諮詢 外六件	二十七年五月 十五日 百七十七人	開院式
第七回	二百九十三人	三日	二百二十四人	七割六分強	二十七年十月 三十一日 二百三十一人	臨時軍事費豫 算案外十八件	二十七年十月 十八日 二百一十一人	開院式 勅語奉答ノ件 外四件

第七十二回 諸表(議員出席比例一覽表)

六六一

第七十二回 諸表 (議員出席比例一覽表)

第八回	第九回	第十回	第十一回	第十二回	第十三回	第十四回	第十五回	第十六回
二百九十一人 乃至 二百九十二人	二百九十三人 乃至 二百九十九人	二百九十九人 乃至 三百一人	三百三十一人	三百二十五人 乃至 三百二十七人	三百二十三 乃至 三百二十六人	三百二十三 乃至 三百二十四人	三百二十六 乃至 三百二十七人	三百二十六 乃至 三百二十七人
四十二日	四十六日	二十七日	二日	十七日	四十五日	三十三日	十九日	二十六日
百五十七人強	百五十人弱	百五十八人弱	二百十人弱	二百五人弱	百八十八人強	百九十九人強	二百十一人弱	百九十五人弱
五割四分弱	五割一分弱	五割三分弱	六割三分強	六割三分弱	五割八分弱	六割一分強	六割五分弱	六割弱
二十八年二月 二十三日	二十九年二月 二十五日	二十九年十二月 二十九日	三十年十二月 二十五日	三十一年六月 三十日	三十一年十二月 三十日	三十二年二月 二十七日	三十四年三月 二十四日	三十五年三月 八日
國立銀行條例 改正法律案 外五件	營業滿期國立 銀行處分法案 外三十一件	法典ノ施行延 期ニ關スル法 律案外七件	全院委員長選 舉外二件	民法中修正案 外十九件	田畑地價修正 法案外十件	產業組合法案 外五件	増稅案ニ對ス ル勅語奉答ノ 件外十二件	輸入原料砂糖 戻稅法案外二 十四件
二十八人	百一十二人	百一十五人	百一十八人	百一十八人	百一十八人	百一十八人	百一十八人	百一十八人
府縣制改正法 律案外三十三 件	青島驅除豫防 法案外十一件	市制町村制等 ニ關スル法律 案外十二件	勅語奉答ノ件 式	國籍法案外十 八件	臺灣銀行補助 法案外二十一 件	豫算追加案審 査期限ヲ定ム ルノ件外十六 件	明治二十九年 法律第四號中 改正法律案外 二件	總豫算追加案 審査期限ヲ定 ムルノ件外六 件

第七十二回 諸表 (議員出席比例一覽表)

第十七回	第十八回	第十九回	第二十回	第二十一回	第二十二回	第二十三回	第二十四回	第二十五回
三百二十四人 乃至 三百二十五人	三百二十四人	三百三十一人	三百三十一人	三百六十人 乃至 三百六十四人	三百五十九人 乃至 三百六十四人	三百六十三人 乃至 三百六十五人	三百六十七人 乃至 三百七十八人	三百六十七人 乃至 三百七十八人
三日	七日	二日	六日	十九日	二十二日	二十日	二十日	二十二日
百九十三人弱	二百四人弱	二百五人弱	二百二十二 人強	二百二十七 人強	二百十人弱	二百二十人弱	二百二十八 人弱	二百二十九 人弱
五割九分強	六割三分弱	六割二分弱	六割七分強	六割三分弱	五割八分強	六割強	六割二分弱	六割二分強
三十五年十二 月十日	三十六年六月 二十日	三十六年十二 月十一日	三十七年三月 二十九日	三十八年二月 二十五日	三十九年三月 二十七日	四十年三月二 十一日	四十一年三月 二十五日	四十二年三月 二十日
勅語奉答ノ件 外四件	鐵道敷設法中 改正法律案外 十六件	勅語奉答ノ件 外四件	非常特別稅法 案外二十件	外國裁判所ノ 屬託ニ因ル共 助法案外四十 三件	國債ニ關スル 法律案外六十 六件	樺太ニ施行ス ル法令ニ關 スル法律案外 二十七件	官吏恩給法中 改正法律案外 二十九件	輸出菓子糖果 原料砂糖戻稅 法案外十三件
百一十八人	百一十八人	百一十八人	百一十八人	百一十八人	百一十八人	百一十八人	百一十八人	百一十八人
刑法改正案外 八件	開院式	開院式	勅語奉答ノ件 外七件	豫算追加案外 四件	官國幣社經費 ニ關スル法律 案外十八件	貨幣法中改正 法律案外五件	國有林野法中 改正法律案外 五件	輸入原料砂糖 戻稅法中改正 法案外四件

第七十二回 諸表(議員出席比例一覽表)

第二十六回	第二十七回	第二十八回	第二十九回	第三十回	第三十一回	第三十二回	第三十三回	第三十四回
三百六十八人 乃至三百七十一人	三百六十五人 乃至三百六十八人	三百七十六人 乃至三百八十人	三百七十九人	三百七十八人 乃至三百八十八人	三百六十八人 乃至三百七十五人	三百七十八人	三百七十六人	三百七十六人 乃至三百七十七人
二十日	二十二日	十六日	二日	十三日	十九日	二日	四日	四日
二百二十人強	二百二十人強	二百四十四人強	二百七十八人	二百三十五人弱	二百三十八人弱	二百四十人	二百四十二人弱	二百六十三人弱
五割九分強	六割一分弱	六割五分弱	七割三分強	六割二分強	六割四分弱	六割三分強	六割四分強	七割弱
四十二年三月四日	四十四年三月十三日	四十五年三月七日	大正元年八月二十四日	二年三月二十日	三年三月十三日	三年五月六日	三年六月二十七日	三年九月九日
宅地地價修正法案外五十件	總豫算案外九件	總豫算案外二件	豫算追加案外七件	總豫算案外六十三件	總豫算案外十件	豫算追加案外三件	豫算追加案外四件	豫算追加案外九件
四十二年三月十日	四十四年二月九日	四十四年十二月二十八日	大正元年八月二十三日	二年三月八日	三年一月二十日	三年五月五日	三年六月二十日	三年九月四日
關稅定率法改一件	豫算追加案外二件	外三件	勅語奉答ノ件	遺失物法中改一件	營業稅法中改一件	開院式	開院式	開院式

第七十二回 諸表(議員出席比例一覽表)

第三十五回	第三十六回	第三十七回	第三十八回	第三十九回	第四十回	第四十一回	第四十二回	第四十三回
三百七十六人 乃至三百七十七人	三百七十四人	三百七十一人 乃至三百七十四人	三百七十七人 乃至三百七十八人	三百七十七人 乃至三百七十九人	三百七十六人 乃至三百八十人	三百九十六人 乃至四百一人	三百九十一人 乃至三百九十四人	三百九十七人 乃至三百九十八人
七日	十二日	十九日	三日	十日	十九日	二十六日	十九日	十八日
二百三十七人弱	二百四十七人弱	二百二十五人強	二百二十五人	二百四十七人	二百三十一人弱	二百三十五人強	二百三十人弱	二百五十一人弱
六割三分弱	六割六分強	六割強	六割弱	六割五分強	六割一分強	五割九分弱	五割九分弱	六割三分強
三年十二月八日	四年六月八日	四年十二月七日	六年一月二十三日	六年六月二十日	七年三月二十日	八年三月二十日	九年一月二十日	九年七月二十日
勅語奉答ノ件	帝國鐵道會計法中改正法律案外七十七件	電氣事業法中改正法律案外五件	阿片法中改正法律案外六件	阿片法中改正法律案外十一件	軍需工業動員法案外二十五件	衆議院議員選舉法中改正法律案外八件	上奏案外一件	豫算追加案外十四件
三年十二月七日	四年五月二十日	五年二月十五日	五年十二月二日	六年六月二十日	七年一月二十日	八年二月三日	八年十二月二日	九年七月一日
開院式	開院式	豫算追加案外二十八件	開院式	開院式	開院式	豫算追加案外二件	開院式	開院式

第七十二回 諸表(議員出席比例一覽表)

第四十四回	第四十五回	第四十六回	第四十七回	第四十八回	第四十九回	第五十回	第五十一回	第五十二回
三百九十一人 乃至 三百九十三人	三百八十七人 乃至 三百九十七人	四百人 乃至 四百人	三百九十二人 乃至 三百九十四人	三百九十六人 乃至 三百九十八人	三百九十五人 乃至 三百九十八人	三百九十二人 乃至 三百九十八人	四百人 乃至 四百人	三百九十九人 乃至 四百零六人
二十七日	三十日	三十日	十一日	十一日	十一日	十一日	三十一日	二十七日
二百四十九人	二百三十七人	二百五十八人	二百二十六人	二百四十八人	二百四十三人	二百四十三人	二百七十八人	二百四十三人
六割四分弱	六割一分弱	六割二分強	六割七分弱	五割八分弱	六割二分強	六割二分強	六割七分弱	六割強
十年三月十一日	十一年三月二日	十二年三月廿一日	十三年一月二日	十三年七月一日	十四年三月二日	十四年三月二日	十五年一月二日	昭和二年一月十八日
風教ニ關スル決議案	豫算追加案外百六十四件	總豫算案外三十五件	豫算追加案外十一件	賀表案及賀儀案外五件	決議案外二件	總豫算案外二十六件	請假ノ許可外一件並國務大臣ノ演說	請假ノ許可外一件並國務大臣ノ演說
九年十二月二日	十一年二月八日	十一年十二月二十七日	十二年十二月十一日	十二年十二月十七日	十三年六月二日	十三年十二月二十六日	十四年十二月二十六日	昭和二年二月一日
百三十九人	百八十七人	百三十四人	百七十一人	百七十一人	百三十五人	百五十九人	二百六十二人	二百八十八人
開院式	大正十年勅令第三百七十五號(承諾ヲ求ムル件)外二件	開院式	開院式	開院式	開院式	開院式	開院式	開院式

第七十二回 諸表(議員出席比例一覽表)

第五十三回	第五十四回	第五十五回	第五十六回	第五十七回	第五十八回	第五十九回	第六十回	第六十一回
四百六十八人	三百九十七人 乃至 三百九十八人	四百零五人	三百九十六人 乃至 四百零二人	三百九十七人	三百九十八人	三百九十八人 乃至 四百零一人	四百零一人	四百零二人
三日	三日	九日	三十五日	三日	十五日	四十二日	三日	四日
二百四十八人	二百四十九人	二百六十四人	二百七十六人	二百五十七人	二百六十二人	二百六十一人	二百五十九人	二百六十五人
六割一分弱	六割三分弱	六割五分強	六割九分強	六割五分弱	六割六分弱	六割五分強	六割五分弱	六割六分弱
二年五月八日	三年一月二十一日	三年四月二十三日	四年二月二十一日	五年一月二十三日	五年五月十三日	六年三月二十三日	七年一月二十三日	七年三月二十三日
昭和二年勅令第九十六號(承諾ヲ求ムル件)外十件	請假ノ許可外一件並國務大臣ノ演說	豫算委員會開會ノ議決外六件	内閣總理大臣ノ措置ニ關スル決議案	國務大臣ノ演說	豫算追加案外三十八件	豫算追加案外二十二件	國務大臣ノ演說	國務大臣ノ演說並豫算追加案外十三件
二年五月四日	二年十二月二日	三年四月二十三日	三年十二月二日	四年十二月二日	五年四月二十三日	五年十二月二日	六年十二月二日	七年三月二十三日
百七十人	百七十六人	百六十三人	百六十一人	二百十四人	百六十八人	二百九人	二百十人	百七十人
開院式	開院式	開院式	開院式	開院式	開院式	開院式	開院式	開院式

第七十二回 諸表(議員出席比例一覽表)

第六十二回	第六十三回	第六十四回	第六十五回	第六十六回	第六十七回	第六十八回	第六十九回
三百九十九人 乃至 四百一人	四百一人 乃至 四百二人	四百五人 乃至 四百五人	四百一人 乃至 四百五人	四百十一人 乃至 四百十二人	四百九人 乃至 四百十二人	四百十人 乃至 四百十一人	四百五人 乃至 四百七人
十日	十一日	三十二日	三十三日	十日	二十四日	三日	十七日
二百七十四人	二百六十八人	二百六十四人	二百六十四人	二百七十一人	二百六十三人	二百六十八人	二百七十七人
六割九分弱	六割七分弱	六割六分弱	六割六分弱	六割六分弱	六割四分強	六割三分強	六割八分強
七年六月十四日 三百十四人	七年八月二十日 九月三日 三百二人	八年三月二十日 五月七日 三百七人	九年一月二十日 三月十日 三百十人	九年十一月三日 十月十日 三百二十二人	十年三月二十日 三月三日 三百三人	十一年一月二日 十一月三日 三百九人	十一年五月六日 三月十四日 三百十四人
柳河軌道株式會社 補償ノ爲ニ關スル 發行人ノ關係 法律案外三十件	國務大臣ノ演 說外三十八件	辯護士法改正 法律案外四十件	國務大臣ノ演 說	滿洲國皇帝陛 下御來訪ニ付 歡迎ニ關スル 議決外二十八件	國務大臣ノ演 說	國務大臣ノ演 說外二件	國務大臣ノ演 說及報告外一 件
七年六月一日 百八十三人	七年八月二十日 八月八日 百八十八人	七年十二月二日 十二月十六日 二百一十一人	九年二月一日 二月二十九日 二百二十九人	九年十一月二日 十一月十八日 二百一十一人	九年十二月二日 十二月十六日 百七十一人	十年十二月二日 十二月十六日 二百三十人	十一年五月四日 五月十三日 二百十三人
開院式	開院式	開院式	國務大臣ノ演 說ニ關スル 外二件	開院式	開院式	開院式	開院式

第七十回	第七十一回	第七十二回
四百五人 乃至 四百十三人	四百十二人	四百十二人 五
二十九日	二十二日	五日
二百七十六人	二百九十九人	三百三人
六割七分強	七割	七割四分弱
十一年一月二日 十一月一日 三百二十人	十二年七月二日 七月十七日 三百二十三人	十二年九月五日 九月十三日 三百三十人
國務大臣ノ演 說	國務大臣ノ演 說	國務大臣ノ演 說外五件
十一年十二月 十二月二十七日 二百三十七人	十二年七月二日 七月十五日 二百四十二人	十二年九月四日 九月十五日 二百五十五人
全院委員長選 舉外四件	開院式	開院式勅語奉 答ノ件外三件

備
議員總數ハ會期中ニ於ケル議員最多數及最少數ノ和ヲ平均シタルモノニ依ル 議員總數中ニハ議長及副議長ヲ算入シ
議員出席中ニハ之ヲ算入セス
考
第一回議會開院式日及開會日數中三日間ノ出席議員數不明ナルヲ以テ四十五日間ノ平均數ヲ掲ク

第七十二回 諸表(議員出席比例一覽表)

自第七十一回議會 傍聽人員表

議 會	開會日數	傍聽人員總數	內 國		外 國		平均傍聽人員數
			男	女	男	女	
第一回	四日	八、五八一人	八、五三四人	三人	九人	八人	一八三、弱
第二回	二日	五、三六九人	五、三〇二人	六七	四	一六	二五六、弱
第三回	二日	一〇、七〇六	一〇、六三三	六五	九	九	四一二、弱
第四回	四日	一〇、六四九	一〇、五一四	一一九	八	八	二六〇、弱
第五回	一日	二、二一〇	二、一八八	三二	一	一	三三一、弱
第六回	一日	二、二〇二	二、一〇三	九一	四	四	一三八、弱
第七回	三日	七、四七	七、三六	一一	一	一	三七四、弱
第八回	四日	五、一四八	五、〇七四	六三	七	四	一二六、弱
第九回	四日	六、五〇三	六、四一〇	八一	八	四	一四五、弱
第十回	二日	四、九三三	四、八五四	五〇	一一	八	一八九、強

第十一回	二日	一〇、一	一〇、一	一	一	一	一〇、一
第十二回	一日	四、三六二	四、二六二	八一	一四	五	二七三、弱
第十三回	四日	七、七〇六	七、五八六	一一〇	九	一	一七五、強
第十四回	三日	五、四九七	五、四〇九	六九	一一	八	一七二、弱
第十五回	一日	五、一五二	五、〇四二	九五	八	七	二八六、強
第十六回	二日	五、三九〇	五、二七九	九八	一三	四	二二六、弱
第十七回	二日	一、七四	一、七四	一	一	一	八七
第十八回	六日	一、五〇八	一、三九八	七四	三五	一	二五一、強
第十九回	一日	三、六三	三、六二	一	一	一	六三
第二十回	五日	一、一〇五	一、〇六七	二三	一三	二	二二一
第二十一回	一日	二、六〇六	二、四九九	一〇二	五	一	一四五、弱
第二十二回	二日	三、七八九	三、六九四	七七	一六	二	一八〇、強
第二十三回	一日	三、三三六	三、一六七	一〇七	四八	一四	一七六、強

第二十四回	一九	三、三一四	三、一〇三	九三	一一三	五	一七四、強
第二十五回	二二	三、八七六	三、七六八	九七	五四	一一	一八五、弱
第二十六回	一九	三、二二九	三、一四七	七五	四	三	一七〇、弱
第二十七回	二二	二、九一九	二、七九〇	九七	二三	九	一三九、
第二十八回	一五	三、三四三	三、二一九	一〇七	一四	三	二二三、弱
第二十九回	二	二六四	二五八	六	一	一	二六四、
第三十回	一二	二、二八〇	二、二五〇	二七	三	一	一九〇、
第三十一回	一八	五、二九六	五、二一五	五〇	一九	三	二九四、強
第三十二回	二	二二二	二二〇	一	一	一	一一一、弱
第三十三回	三	六二六	六〇九	一一	五	一	二〇九、弱
第三十四回	三	四三五	四三一	四	一	一	一四五、
第三十五回	六	六八六	六六九	一〇	五	二	一一四、強
第三十六回	一一	三、二四二	三、一七五	五六	七	四	二九五、弱

第三十七回	一八	四、一二七	四、〇四八	七二	四	三	二三〇、弱
第三十八回	二	四九七	四八九	七	一	一	二四九、弱
第三十九回	九	一、七九九	一、七六七	二八	四	一	二〇〇、弱
第四十回	一八	三、六三一	三、五二一	一〇一	六	三	二〇二、弱
第四十一回	二五	六、〇〇七	五、八九九	九六	二	一	二四〇、強
第四十二回	一八	三、四四五	三、三三三	九六	一七	一	一九一、強
第四十三回	一七	三、八九八	三、八二五	五九	二	二	二二九、強
第四十四回	二六	一、六九八	一〇、九六四	六七四	一八	四二	四五〇、弱
第四十五回	三一	九、六一七	八、七二〇	八六四	二六	七	三一〇、強
第四十六回	二九	一、一五三	九、七九四	一、三三九	一三	七	三八五、弱
第四十七回	九	一、五七七	一、四一一	一五三	一三	一	一七五、強
第四十八回	六	一、三三六	一、二七〇	六二	四	一	二二三、弱
第四十九回	一〇	三、一五五	二、四八四	六五九	一〇	二	三一六、弱

第七十二回 諸表(傍聴人員表)

第五十回	三三	一六、四〇三	一三、八九九	二、五一六	一五	四九七、強
第五十一回	三一	一五、〇九六	一一、九四八	三、一三四	一三	四八七、弱
第五十二回	二七	一一、一六	一〇、一五一	一、九五五	七	四四九、弱
第五十三回	二	八八六	八五九	二七	一	四四三、
第五十四回	二	七五八	六〇九	一四六	二	三七九、
第五十五回	八	四、六二三	四、三七六	二四一	三	五七八、弱
第五十六回	三四	二二、二八五	一九、八一	三、四四一	三	六八五、弱
第五十七回	二	一、〇四五	九三二	一〇八	二	五二三、弱
第五十八回	一四	一〇、七〇一	九、九二七	七六〇	二	七六四、強
第五十九回	四一	二五、三三六	一九、二五一	五、九八九	五	六一八、弱
第六十回	二	九四四	八二二	一一一	二	四七二、
第六十一回	三	一、五九二	一、三九二	二〇〇	一	五三一、弱
第六十二回	九	三、五二三	二、五四一	九六八	二	三九一、強

第六十三回	一〇	二、七五〇	二、四八三	二五七	七	二七五、
第六十四回	三一	一一、四六八	六、五三九	四、九一三	二	三七〇、弱
第六十五回	三三	一五、五〇〇	九、三四九	六、一二五	二	四七〇、弱
第六十六回	九	一、八三四	一、五三一	三〇一	二	二〇四、弱
第六十七回	二三	一一、九五六	一七、二二二	四、七八九	三	五二〇、弱
第六十八回	二	四六七	三三五	一一六	五	二三四、弱
第六十九回	一六	七、八二八	五、七七九	二、〇三七	九	四八九、強
第七十回	二八	一七、八九六	一〇、五三七	七、三三七	二	六三九、強
第七十一回	一一	三、五〇六	二、九一三	五六五	二〇	三一九、弱
第七十二回	五	一、八二二	一、四八八	三三一	三	三六四、強

考備 開會日數ニハ開院式日ヲ算入セス但シ開院式當日議事ヲ開キタル場合ハ之ヲ算入ス

第七十二回 諸表(傍聴人員表)

自第一回至第七十二回議會印刷物比較表

會期	件數	部數	枚數
第一回	七一	三四、九五〇	六六四、一五〇
第二回	五五	二七、三一〇	三六七、五四〇
第三回	七六	七一、四二五	一、二七九、三七五
第四回	一四四	五四、五三〇	一、二五二、四三〇
第五回	五三	一六、九二〇	五八五、六五〇
第六回	九三	五八、七四〇	七八二、八二〇
第七回	一九	八、八二〇	二八一、一六〇
第八回	一七五	一一六、三二五	一、三一三、六三五
第九回	三三二	一九五、二二五	二、〇三一、九六五
第十回	二二五	一六二、七一〇	二、〇四五、一六〇
第十一回	二四	一一、一四〇	一、〇一四、八四〇

第十二回	一六二	九六、六四〇	一、二三三、九九〇
第十三回	五八六	三七六、五七八	二、八二四、三八三
第十四回	三八五	三〇二、五九〇	二、八七五、八一五
第十五回	一九二	二二五、四二二	一、九九五、九二二
第十六回	二七一	一九〇、一五七	二、三八二、一四六
第十七回	三六	二七、二二七	一、二五〇、八四七
第十八回	六八	五五、九八四	一、三三五、九七四
第十九回	一一	八、六二五	九、六二五
第二十回	七五	五四、九二一	一七七、四二一
第二十一回	二九七	九五六、一八一	二、二二一、四八五
第二十二回	二〇七	二四六、一九九	二、二七八、七五四
第二十三回	二〇六	二四五、三二三	一、三〇〇、三七七
第二十四回	二五八	三二八、七九七	二、五七五、六〇八

第二十五回	二二〇	三二七、〇八七	二、三六五、四九二
第二十六回	三二四	三三五、六九〇	二、三三二、六九〇
第二十七回	四二四	三七一、三七〇	二、六九九、七五〇
第二十八回	三二七	二三五、四九〇	二、五九〇、〇三〇
第二十九回	一八	一一、三八〇	三七、一二〇
第三十回	二二二	一六五、七七〇	二、一三五、〇六〇
第三十一回	四二五	一八六、四八〇	二、五五三、〇八〇
第三十二回	二二	一一、八九〇	四二、〇九〇
第三十三回	二三五	二一、六七〇	五〇、七七〇
第三十四回	一四〇	二二七、四七〇	八二、二三〇
第三十五回	九九	二六五、一八二	二、八一九、一九二
第三十六回	一七五	一五八、五三〇	二、九一五、六六〇
第三十七回	四九三	四〇二、〇七二	二、七八五、四七九

第三十八回	五八	二九、〇六三	一、〇四三、二七九
第三十九回	二四〇	一八四、五六〇	一、二〇八、八一五
第四十回	五一四	四三八、二四七	二、八一七、〇七六
第四十一回	二四七	七一八、九一〇	四、四五六、三六〇
第四十二回	二二二	一九一、三四〇	二、七八一、九三〇
第四十三回	三五三	三二五、八三〇	一、四一二、二七〇
第四十四回	七八一	六八四、〇八〇	四、七一〇、五三〇
第四十五回	五六四	四三〇、四五〇	四、七九五、四一〇
第四十六回	四三六	三八六、四五〇	五、〇三六、八二〇
第四十七回	一四六	八八、二六〇	一一〇、四五〇
第四十八回	六八	三五、四四〇	一、九四三、九六〇
第四十九回	二四七	一三六、三六〇	一、二七八、八六〇
第五十回	四六八	三〇一、二二〇	四、〇七九、七五〇

第七十二回 諸表(印刷物比較表)

第五十一回	六一四	七〇一、七九二	七、三九八、四八八
第五十二回	三五五	五八八、五四二	四、六七七、五八八
第五十三回	二七	二五、九五〇	九二六、三一〇
第五十四回	五一	三八、七九〇	一、二四七、七五〇
第五十五回	九〇	八七、五七〇	二、二六二、七二〇
第五十六回	四四八	七四〇、四九〇	五、七〇六、二八〇
第五十七回	二七	一三、六四〇	六一七、四七〇
第五十八回	一一二	七三、五六〇	六、三四七、九四〇
第五十九回	二五一	三七八、五四〇	五、六六四、七四〇
第六十回	三四	三〇、八〇五	一、八一七、三一五
第六十一回	四七	五七、一三〇	二、五七七、六八〇
第六十二回	一〇一	一三九、五〇〇	七〇四、二一〇
第六十三回	八八	一三〇、三〇〇	六〇〇、九四〇

六八〇

1853
07

考備
本表計數中ニハ輕便印刷器ニ依リ印刷シタル印刷物ハ之ヲ除ク

第六十四回	三五八	七五二、七五〇	六、四七六、三七〇
第六十五回	三四七	三六六、二九〇	五、六四七、六八〇
第六十六回	五四	五四、七三〇	二、六九、二〇〇
第六十七回	二九八	三〇九、九二〇	三、八六二、四五〇
第六十八回	四八	四〇、八四〇	二、三八八、四一五
第六十九回	二〇二	二〇六、三六五	二、〇六九、一五〇
第七十回	三八七	四〇四、八九〇	七、五八四、二一五
第七十一回	一八八	一六九、八九〇	一、九八九、五一〇
第七十二回	五七	六一、四一〇	二、九二、八三〇

第七十二回 諸表(印刷物比較表)

六八一

2581
70

36557



昭和十三年一月八日印刷
昭和十三年一月十日發行

貴族院事務局
印刷者 內閣印刷局

2581
20

34557

明國書
內閣
印
關
印
關
印

貴
藏
刻
事
務
局

西曆十三年一月十日發行

西曆十三年一月八日印







